

第1部

まちだ未来づくりプラン

1 「まちだ未来づくりプラン」とは.

「まちだ未来づくりプラン」は、2012年度から2021年度までの10年間における町田市の市政運営の基本となる計画です。

2021年度の計画人口を43万1千人に見据え、町田市の将来の目指すべき姿とその実現に向けた取り組みの方向性を示しています。また、「未来づくりプロジェクト」「まちづくり基本目標」「行政経営基本方針」で構成されています。

「未来づくりプロジェクト」は、町田市が持つ強みと市民生活をより充実させるための要素を結び、10年を超える長期的な視点に立った取り組みを示しています。

「まちづくり基本目標」は、まちづくりの課題を明確にしたうえで、施策を体系的に整理し、その方向性や目標を示しています。

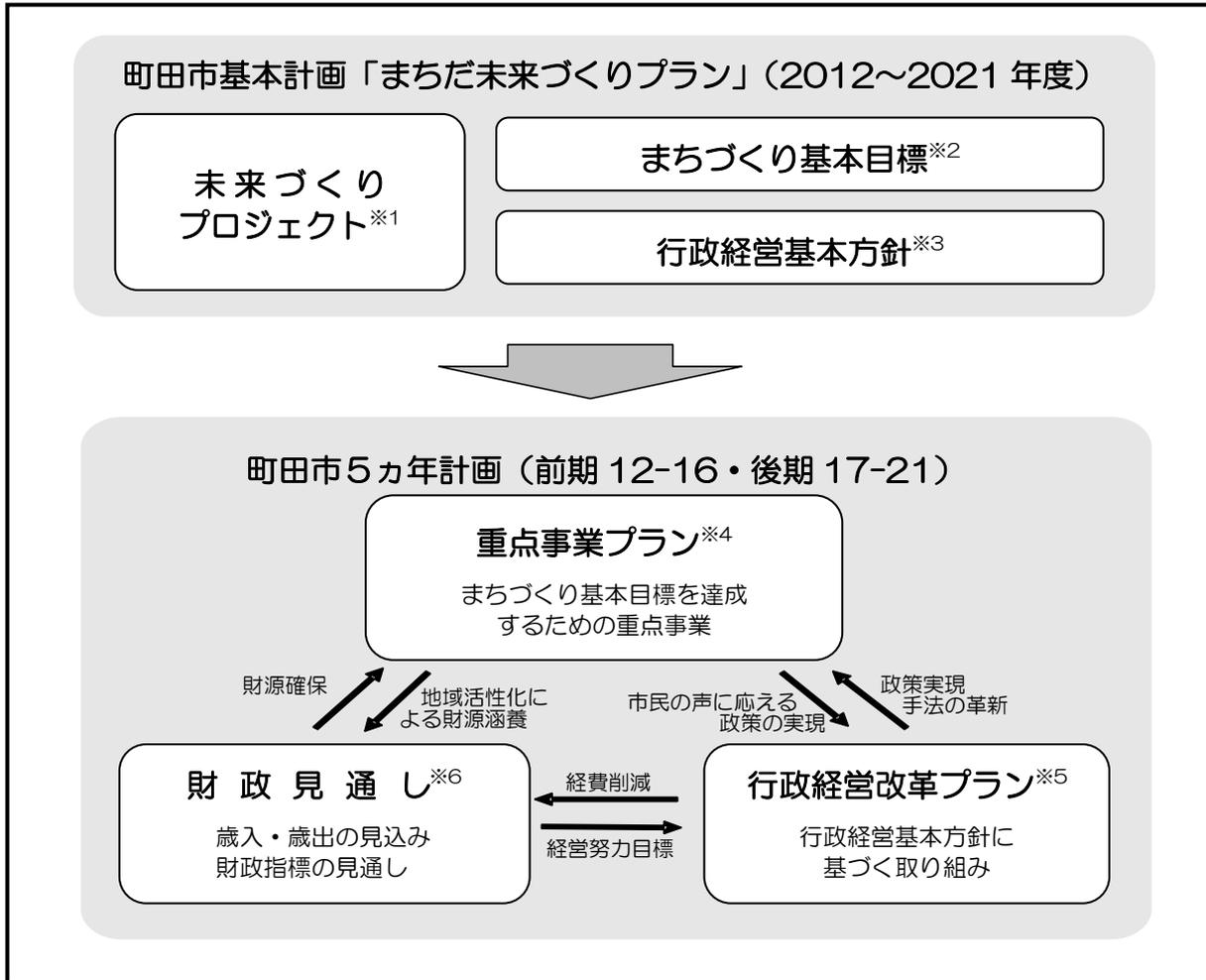
「行政経営基本方針」は、行政経営上の課題と、課題解決に向けた改革の方向性を示しています。

そして、この基本計画で示した方向性を具体化するために、前期5年間（2012年度～2016年度）※と後期5年間（2017年度～2021年度）の5ヵ年ごとの実行計画を策定し、市民のみなさまが住み続けたい、市外からもたくさんの方が訪れたいと思うまちづくりを進めてきました。

※前期5年間の実行計画である「町田市新5ヵ年計画（2012年度～2016年度）」の取り組み結果については、町田市HPにて公開しています。



＜「まちだ未来づくりプラン」全体像＞



※1	未来づくりプロジェクト	町田市が持つ強みと市民生活をより充実させるための要素を結び、10年を超える長期的な視点に立った取り組みを示しています。
※2	まちづくり基本目標	まちづくりの課題を明確にしたうえで、施策を体系的に整理し、その方向性や目標を示しています。
※3	行政経営基本方針	行政経営上の課題と、課題解決に向けた改革の方向性を示しています。
※4	重点事業プラン	「まちだ未来づくりプラン」で示した4つの「まちづくり基本目標」を受け、重点的に取り組む事業と、その目標を示しています。
※5	行政経営改革プラン	「まちだ未来づくりプラン」で示した3つの「行政経営基本方針」を受け、重点的に取り組む改革項目と、その目標を示しています。
※6	財政見通し	将来にわたり財政の健全性を確保するため、また、重点事業プラン・行政経営改革プランの実施を支える財政的な裏付けとして、歳入・歳出（一般財源）の見込みと財政指標の見通しを示しています。

2 「まちだ未来づくりプラン」の成果指標の達成状況

(1) 未来づくり指標の達成状況

まちづくり基本目標Ⅰ
将来を担う人が育つまちをつくる

基本政策1

安心して、楽しく子育てが
できるまちをつくる

指標と達成状況

○『認可保育所待機児童数』は、396人から76人へと**大幅に減少**しています。

○『育児について困ったとき、気軽に相談できる人や場がある保護者の割合』は、**ほぼ横ばい**でした。

○『子どもを預けたいとき、一時的に預けることができた保護者の割合』は、**0.5ポイント上昇**しました。

基本政策2

子どもが生きる力を

○『子どもに充実した学校教育を受けさせることができていると感じる保護者の割合』は、**8.1ポイント低下**しています。

○『児童1千人あたりの不登校児童数』及び『生徒1千人あたりの不登校生徒数』は、**増加**しています。

○『今住んでいる地域が、子どもが安全で健やかに育つ環境になっていると感じる保護者の割合』は、**横ばい**でした。

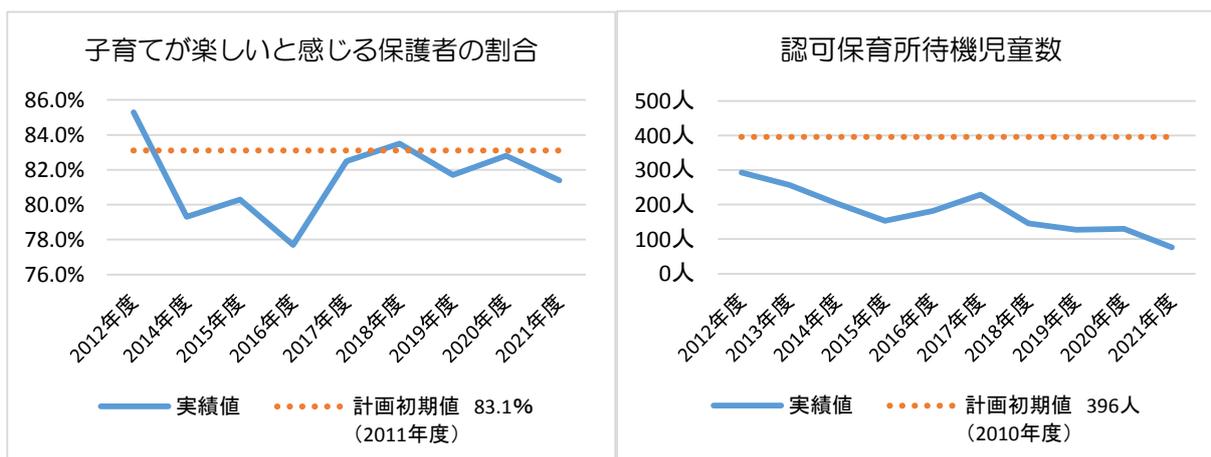
基本政策3

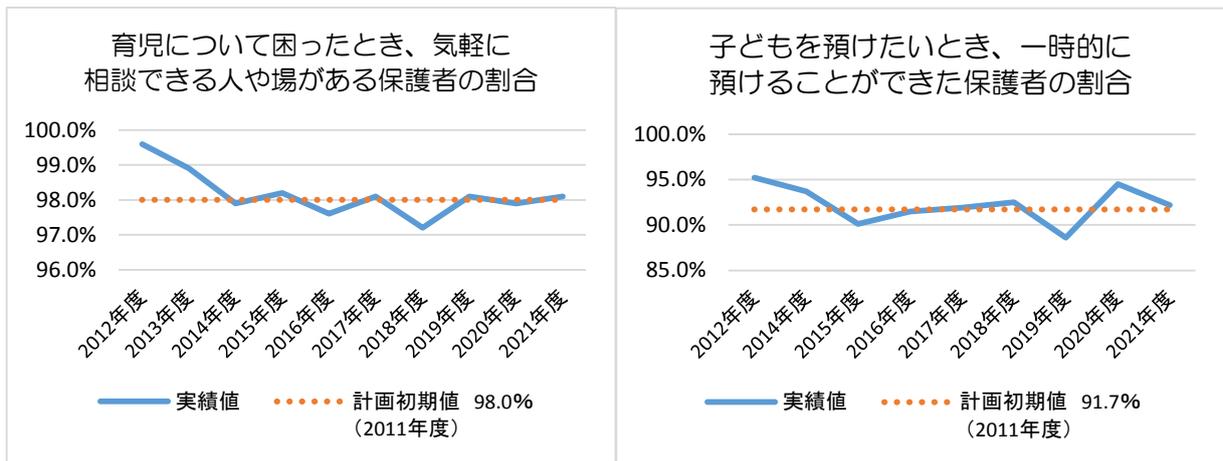
生涯にわたって学び、
成長できるまちをつくる

○『野外体験やボランティアの活動、地域活動に参加した子どもを持つ保護者の割合』は、**70.3%から20.8%へと大幅に低下**しています。

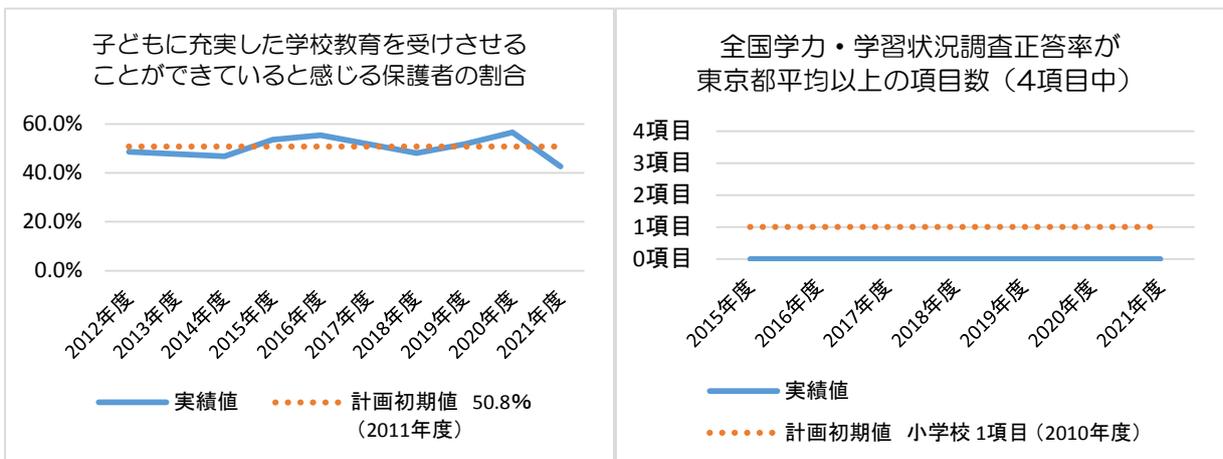
○『生涯学習活動を行う機会を持つことができた市民の割合』は、**2.6ポイント低下**しています。

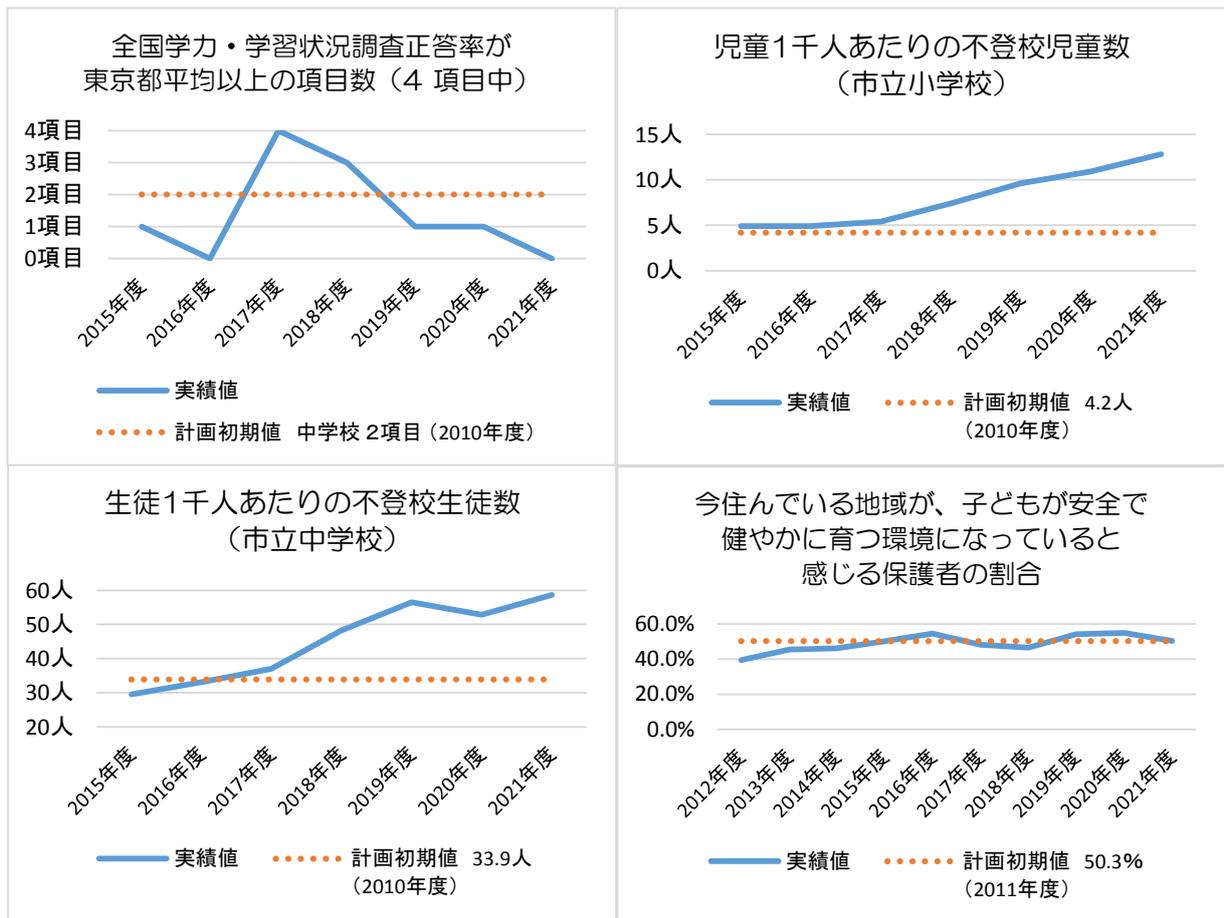
まちだ未来づくりプラン 未来づくり指標 まちづくり基本目標Ⅰ 将来を担う人が育つまちをつくる			
◎基本政策1 安心して楽しく子育てができるまちをつくる			
指標名	計画初期値	最終目標 (2021年度)	結果
子育てが楽しいと感じる保護者の割合	83.1% (2011年度)	↑ 83.1%以上	81.4% (2021年度)
認可保育所待機児童数	396人 (2010年度)	↓ 396人以下	76人 (2021年度)
育児について困ったとき、気軽に相談できる人や場がある保護者の割合	98.0% (2011年度)	↑ 98.0%以上	98.1% (2021年度)
子どもを預けたいとき、一時的に預けることができた保護者の割合	91.7% (2011年度)	↑ 91.7%以上	92.2% (2021年度)



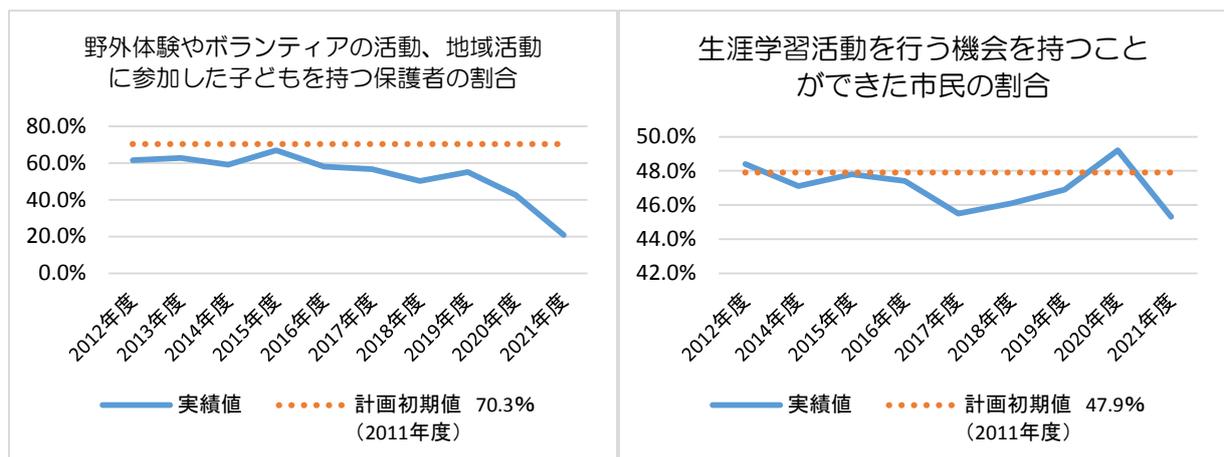


まちだ未来づくりプラン 未来づくり指標 まちづくり基本目標Ⅰ 将来を担う人が育つまちをつくる			
◎基本政策2 子どもが生きる力をはぐくむまちをつくる			
指標名	計画初期値	最終目標 (2021年度)	結果
子どもに充実した学校教育を受けさせることができていると感じる保護者の割合	50.8% (2011年度)	↑ 50.8%以上	42.7% (2021年度)
全国学力・学習状況調査正答率が東京都平均以上の項目数(4項目中)	小学校1項目 (2010年度)	↑ 小学校1項目以上 中学校2項目以上	0項目 (2021年度)
	中学校2項目 (2010年度)		0項目 (2021年度)
児童1千人あたりの不登校児童数(市立小学校)	4.2人 (2010年度)	↓ 4.2人以下	12.8人 (2021年度)
生徒1千人あたりの不登校生徒数(市立中学校)	33.9人 (2010年度)	↓ 33.9人以下	58.7人 (2021年度)
今住んでいる地域が、子どもが安全で健やかに育つ環境になっていると感じる保護者の割合	50.3% (2010年度)	↑ 50.3%以上	50.3% (2021年度)





まちだ未来づくりプラン 未来づくり指標 まちづくり基本目標Ⅰ 将来を担う人が育つまちをつくる			
◎基本政策3 生涯にわたって学び、成長できるまちをつくる			
指標名	計画初期値	最終目標 (2021年度)	結果
野外体験やボランティアの活動、地域活動に参加した子どもを持つ保護者の割合	70.3% (2011年度)	↑ 70.3%以上	20.8% (2021年度)
生涯学習活動を行う機会を持つことができた市民の割合	47.9% (2011年度)	↑ 47.9%以上	45.3% (2021年度)



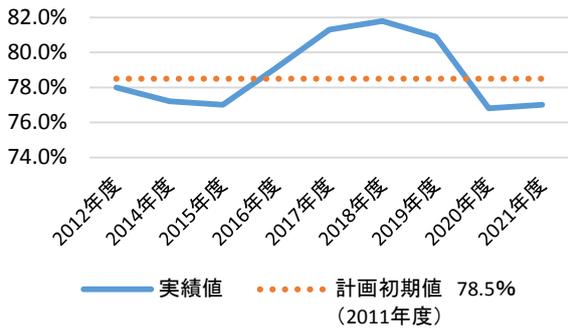
まちづくり基本目標Ⅱ 安心して生活できるまちをつくる

指標と達成状況

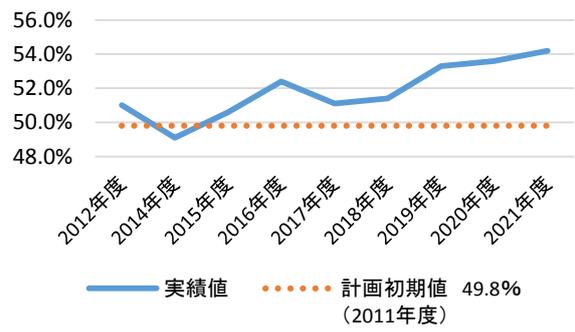
基本政策1 健康に生活できる まちをつくる	<p>○『日常生活の中で健康に気をつけている市民の割合』は、4.4ポイント%上昇しました。</p> <p>○『地域医療体制に満足している市民の割合』は、3.5ポイント上昇しました。</p> <p>○『かかりつけの医療機関がある市民の割合』は2.5ポイント上昇しました。</p>
基本政策2 みんなが支え合う まちをつくる	<p>○『要介護(要支援)認定を受けていない高齢者の割合』は、3.6ポイント低下しています。</p> <p>○『介護保険サービスに満足している市民の割合』は0.7ポイント上昇、『特別養護老人ホームの入所待機者数』は、減少しています。</p> <p>○『一般就労した障がい者数』は増加しました。</p>
基本政策3 地域で充実した生活を 送れるまちをつくる	<p>○『町内会・自治会などの地域活動に参加している市民の割合』は、1.6ポイント低下、『NPOやボランティア団体などの市民団体の活動に参加している市民の割合』は、1.5ポイント低下しました。</p> <p>○『性別、信条、職業、国籍などによる差別がないと思う市民の割合』は、0.6ポイント上昇しました。</p>
基本政策4 安全に生活できる まちをつくる	<p>○『災害などの非常時に対して備えている市民の割合』は0.5ポイント上昇、『治安が良いと感じる市民の割合』は11.8ポイント上昇しました。</p> <p>○『人口1万人あたりの刑法犯認知件数』は、128.2件から45.4件へと大幅に減少しました。</p>

まちだ未来づくりプラン 未来づくり指標 まちづくり基本目標Ⅱ 安心して生活できるまちをつくる			
◎基本政策1 健康に生活できるまちをつくる			
指標名	計画初期値	最終目標 (2021 年度)	結果
過去1年間に健康診断を受診した市民の割合	78.5% (2011 年度)	↑ 78.5%以上	77.0% (2021 年度)
日常生活の中で健康に気をつけている市民の割合	49.8% (2011 年度)	↑ 49.8%以上	54.2% (2021 年度)
地域医療体制に満足している市民の割合	34.3% (2011 年度)	↑ 34.3%以上	37.8% (2021 年度)
かかりつけの医療機関がある市民の割合	72.4% (2011 年度)	↑ 72.4%以上	74.9% (2021 年度)
結核り患率(人口10万人対)	18.6人 (2010 年度)	↓ 18.6人以下	推定9.2人 (2021 年度)

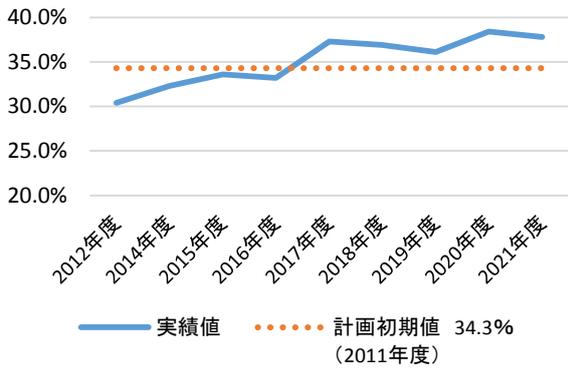
過去1年間に健康診断を受診した市民の割合



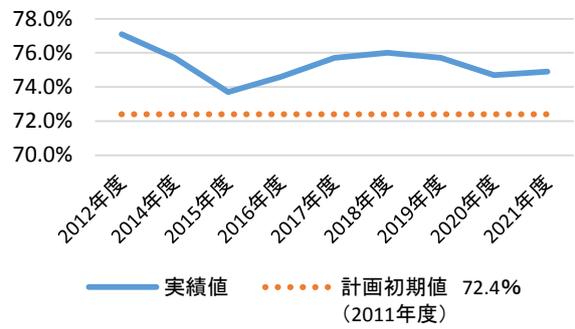
日常生活の中で健康に気をつけている市民の割合



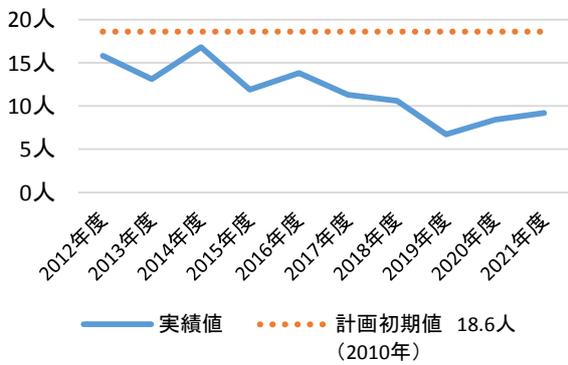
地域医療体制に満足している市民の割合



かかりつけの医療機関がある市民の割合



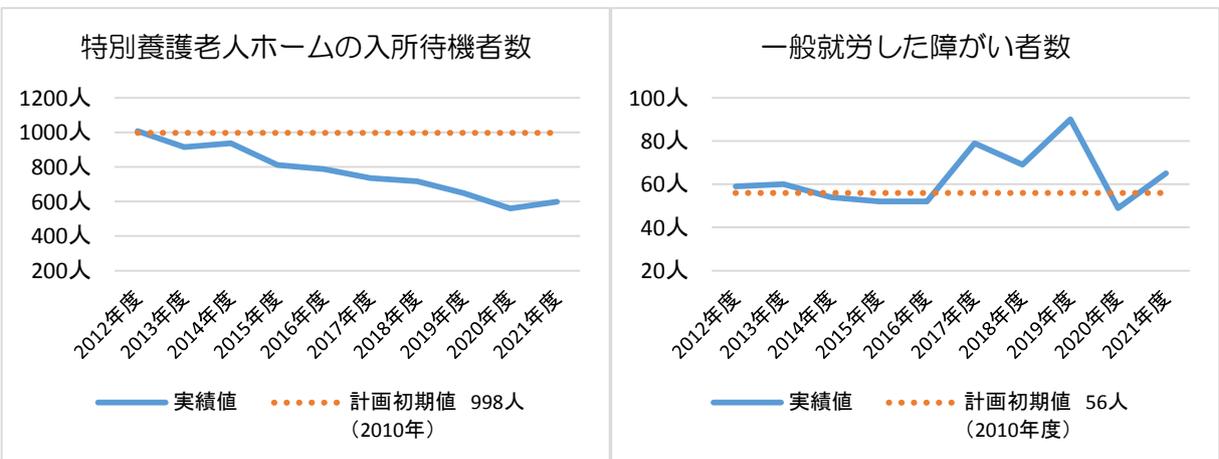
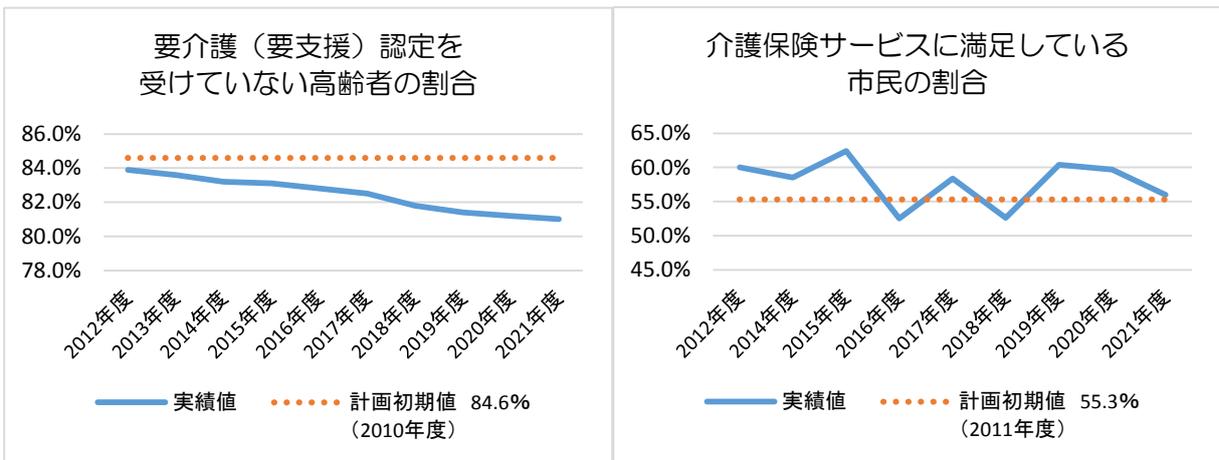
結核り患率（人口10万人対）

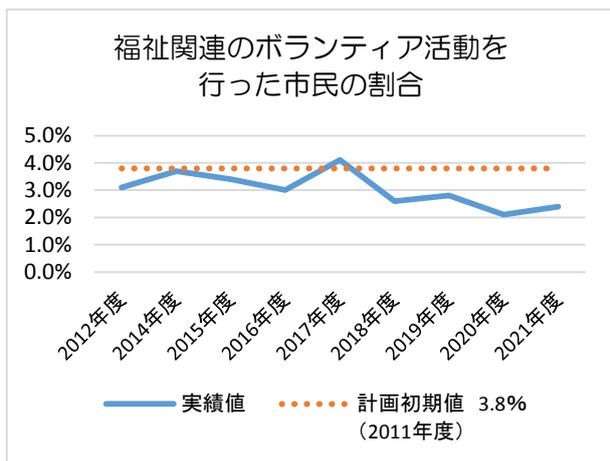


まちだ未来づくりプラン 未来づくり指標
まちづくり基本目標Ⅱ 安心して生活できるまちをつくる

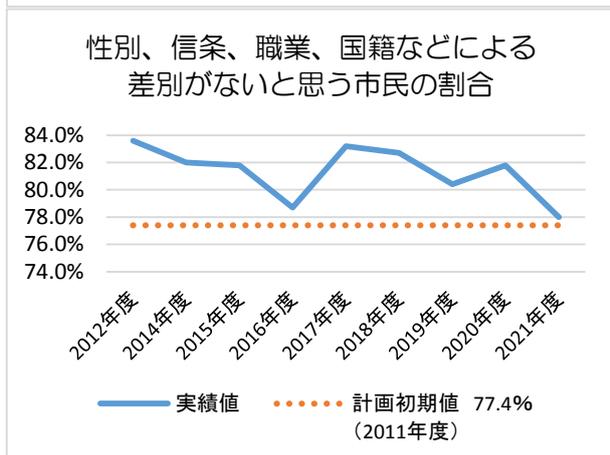
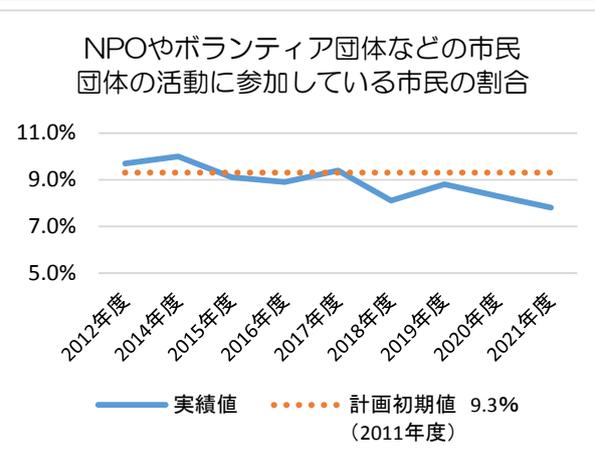
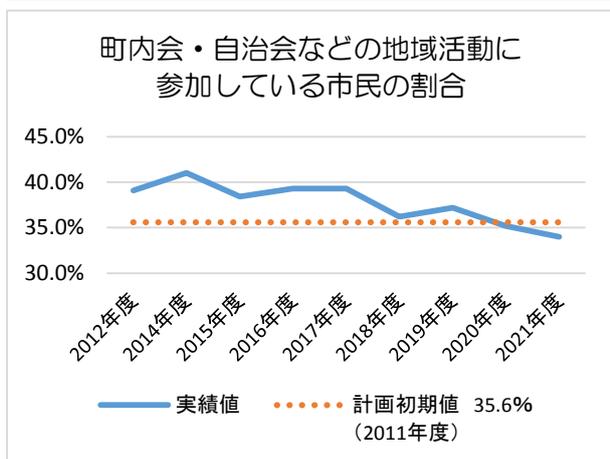
◎基本政策2 みんなが支え合うまちをつくる

指標名	計画初期値	最終目標 (2021年度)	結果
要介護（要支援）認定を受けていない高齢者の割合	84.6% (2010年度)	↑ 84.6%以上	81.0% (2021年度)
介護保険サービスに満足している市民の割合	55.3% (2011年度)	↑ 55.3%以上	56.0% (2021年度)
特別養護老人ホームの入所待機者数	998人 (2010年度)	↓ 998人以下	598人 (2021年度)
一般就労した障がい者数	56人 (2010年度)	↑ 56人以上	65人 (2021年度)
福祉関連のボランティア活動を行った市民の割合	3.8% (2011年度)	↑ 3.8%以上	2.4% (2021年度)





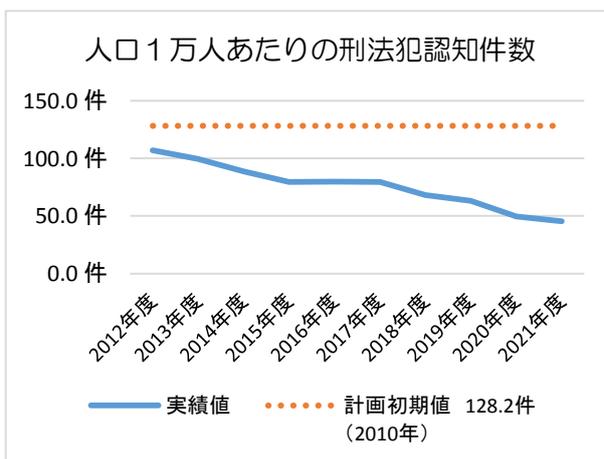
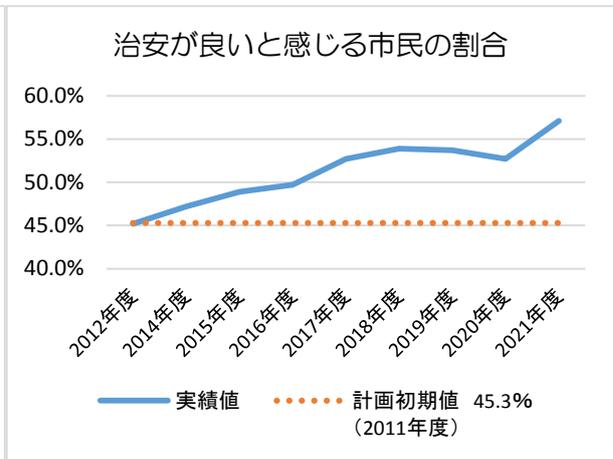
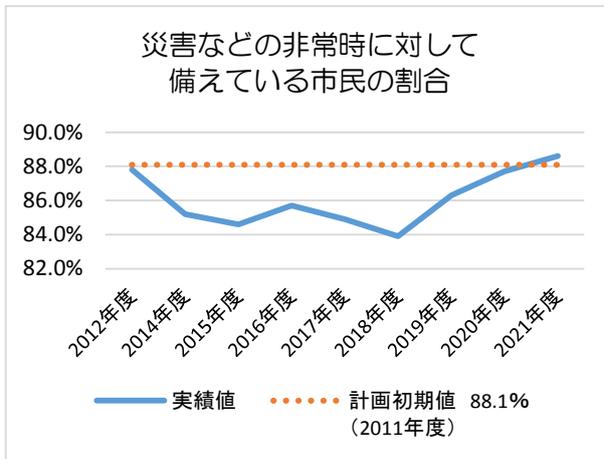
まちだ未来づくりプラン 未来づくり指標 まちづくり基本目標Ⅱ 安心して生活できるまちをつくる			
◎基本政策3 地域で充実した生活を送れるまちをつくる			
指標名	計画初期値	最終目標 (2021年度)	結果
町内会・自治会などの地域活動に参加している市民の割合	35.6% (2011年度)	↑ 35.6%以上	34.0% (2021年度)
NPOやボランティア団体などの市民団体の活動に参加している市民の割合	9.3% (2011年度)	↑ 9.3%以上	7.8% (2021年度)
性別、信条、職業、国籍などによる差別がないと思う市民の割合	77.4% (2011年度)	↑ 77.4%以上	78.0% (2021年度)



まちだ未来づくりプラン 未来づくり指標
まちづくり基本目標Ⅱ 安心して生活できるまちをつくる

◎基本政策4 安全に生活できるまちをつくる

指標名	計画初期値	最終目標 (2021年度)	結果
災害などの非常時に対して備えている市民の割合	88.1% (2011年度)	↑ 88.1%以上	88.6% (2021年度)
治安が良いと感じる市民の割合	45.3% (2011年度)	↑ 45.3%以上	57.1% (2021年度)
人口1万人あたりの刑法犯認知件数	128.2件 (2010年度)	↓ 128.2件以下	45.4件 (2021年度)



まちづくり基本目標Ⅲ 賑わいのあるまちをつくる

指標と達成状況

基本政策1
経済活動が盛んな
まちをつくる

○『市内の「農」にふれる機会を持つことができた市民の割合』は、6.6ポイント**低下**しました。
○『1年間に市内で起業した事業所の数』は、261件から402件へと**大幅に増加**しました。

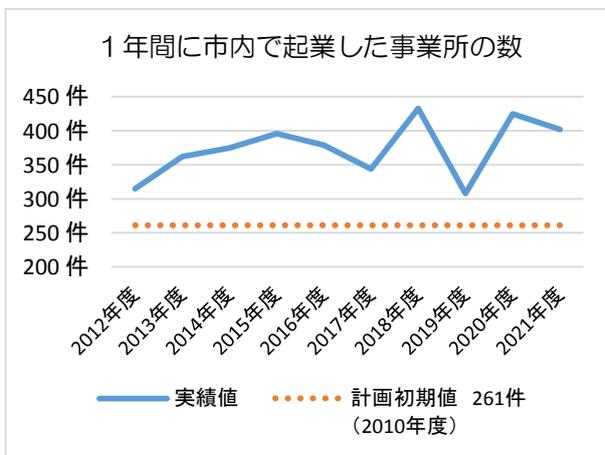
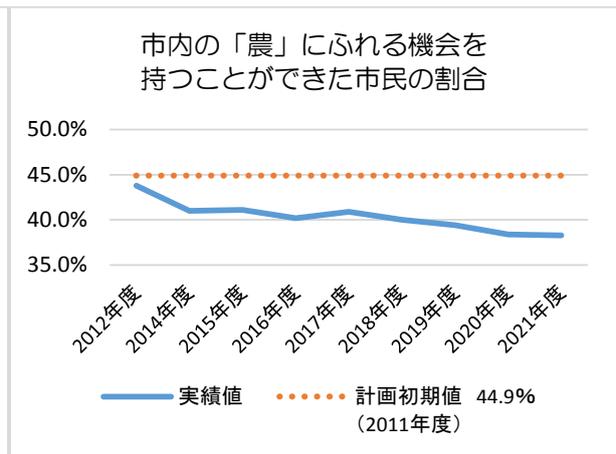
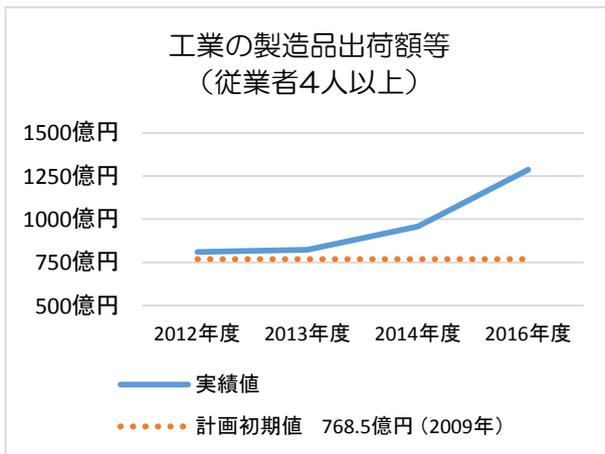
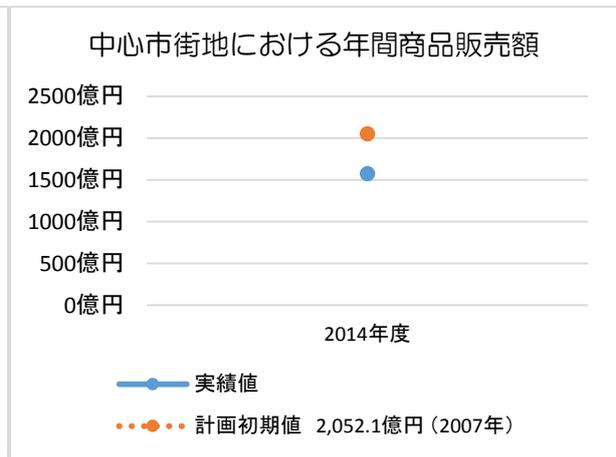
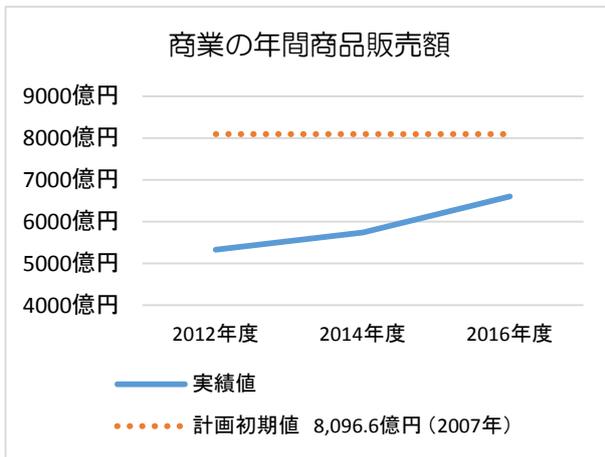
基本政策2
文化芸術活動やスポーツが

○『文化芸術にふれる機会を持つことができた市民の割合』は12.2ポイントと**大幅に低下**、『スポーツにふれる機会を持つことができた市民の割合』は5.6ポイント**低下**しました。
○『町田市を本拠地とするホームタウンチームのホームゲームでの年間観戦者数』は**減少**しています。

基本政策3
魅力にあふれ、何度でも
訪れたいまちをつくる

○『町田市観光コンベンション協会ホームページアクセス数』は46万件から17.4万件へと**大幅に減少**しています。

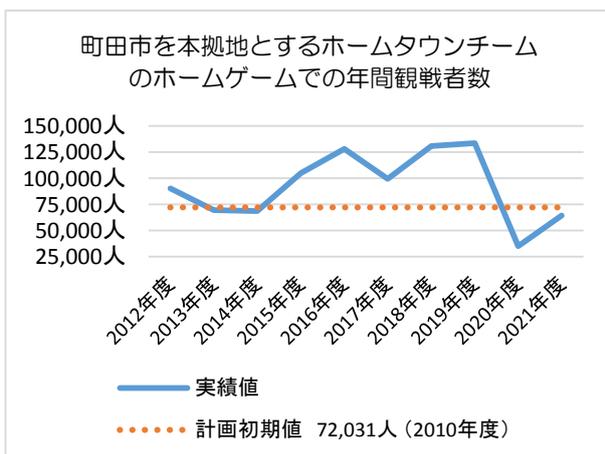
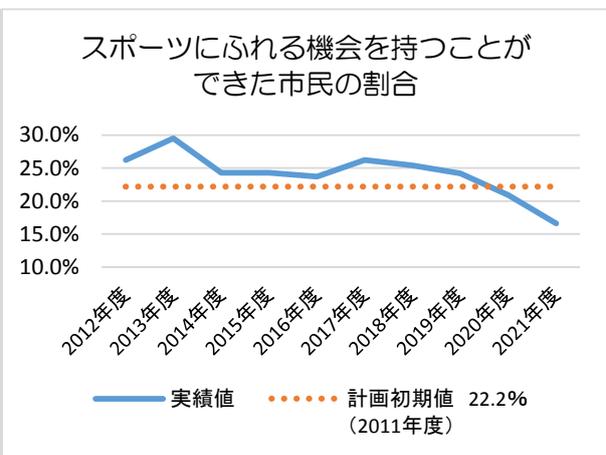
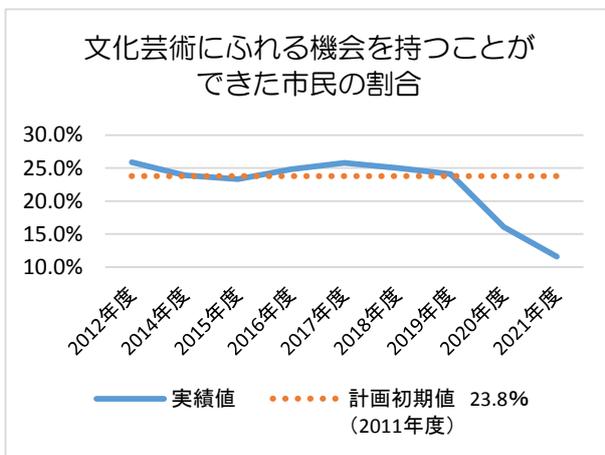
まちだ未来づくりプラン 未来づくり指標 まちづくり基本目標Ⅲ 賑わいのあるまちをつくる			
◎基本政策1 経済活動が盛んなまちをつくる			
指標名	計画初期値	最終目標 (2021 年度)	結果
商業の年間商品販売額	8096.6 億円 (2007 年度)	↑ 8096.6 億円以上	6,601.5 億円 (2016 年度)
中心市街地における年間商品販売額	2052.1 億円 (2007 年度)	↑ 2052.1 億円	1,577.5 億円 (2014 年度)
工業の製造品出荷額等 (従業者 4 人以上)	768.5 億円 (2009 年度)	↑ 768.5 億円以上	1,286.8 億円 (2016 年度)
市内の「農」にふれる機会を持つ ことができた市民の割合	44.9% (2011 年度)	↑ 44.9%以上	38.3% (2021 年度)
1 年間に市内で起業した事業所の 数	261 件 (2010 年度)	↑ 261 件以上	402 件 (2021 年度)



まちだ未来づくりプラン 未来づくり指標
まちづくり基本目標Ⅲ 賑わいのあるまちをつくる

◎基本政策2 文化芸術活動やスポーツが盛んなまちをつくる

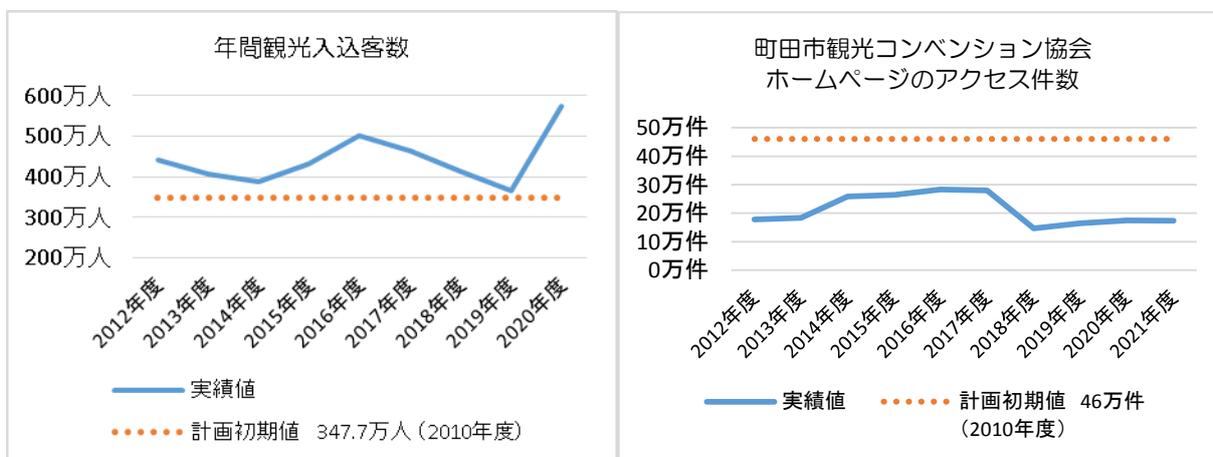
指標名	計画初期値	最終目標 (2021年度)	結果
文化芸術にふれる機会を持つことができた市民の割合	23.8% (2011年度)	↑ 23.8%以上	11.6% (2021年度)
スポーツにふれる機会を持つことができた市民の割合	22.2% (2011年度)	↑ 22.2%以上	16.6% (2021年度)
町田市を本拠地とするホームタウンチームのホームゲームでの年間観戦者数	72,031人 (2010年度)	↑ 72,031人以上	64,326人 (2021年度)



まちだ未来づくりプラン 未来づくり指標
まちづくり基本目標Ⅲ 賑わいのあるまちをつくる

◎基本政策3 魅力にあふれ、何度でも訪れたいまちをつくる

指標名	計画初期値	最終目標 (2021年度)	結果
年間観光入込客数	347.7万人 (2010年)	↑ 347.7万人以上	573.5万人 (2020年)
町田市観光コンベンション協会ホームページのアクセス件数	46万件 (2010年度)	↑ 46万人以上	17.4万件 (2021年度)



まちづくり基本目標Ⅳ 暮らしやすいまちをつくる

指標と達成状況

基本政策1 誰もが移動しやすい まちをつくる

○『自動車での移動の際、目的地までの交通の流れに満足している市民の割合』は6.5ポイント**上昇**、『安全な道路環境が確保されていると感じる市民の割合』は3.0ポイント**上昇**、『公共交通の利便性に満足している市民の割合』は5.4ポイント**上昇**しました。
○『人口1万人あたりの交通事故(人身事故)発生件数』39.9件から19.3件へと**大幅に減少**しています。

基本政策2 良好な住環境の まちをつくる

○『住宅水準に満足している市民の割合』は1.4ポイント**低下**、『居住地周辺の景観に好感が持てる市民の割合』は0.4ポイント**低下**しました。
○『食料品や日用品などの買い物の利便性に満足している市民の割合』は4.7ポイント**上昇**しました。

基本政策3 みどり豊かなまちをつくる

○『身近なみどりの量に満足している市民の割合』は、1.5ポイント**上昇**しました。
○『市域面積に占める安定的に確保された緑地の割合』は、0.2ポイント**低下**しました。

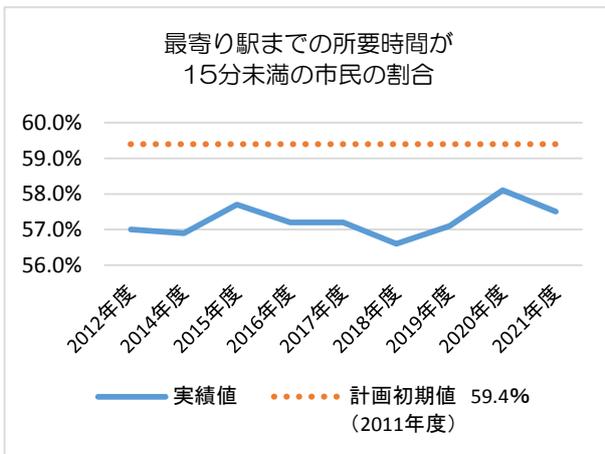
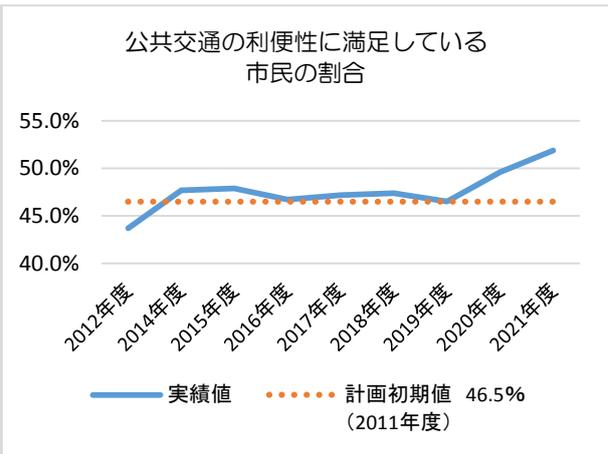
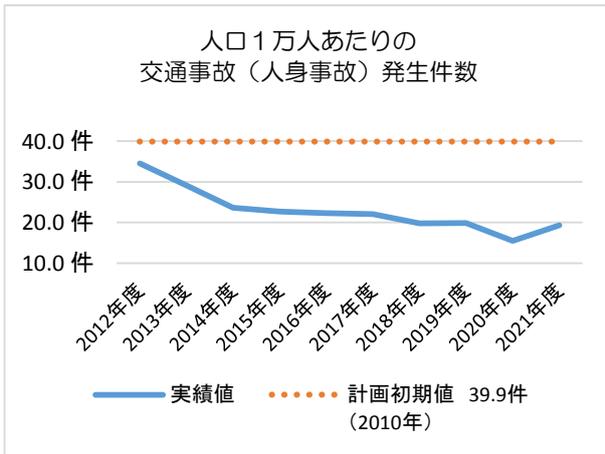
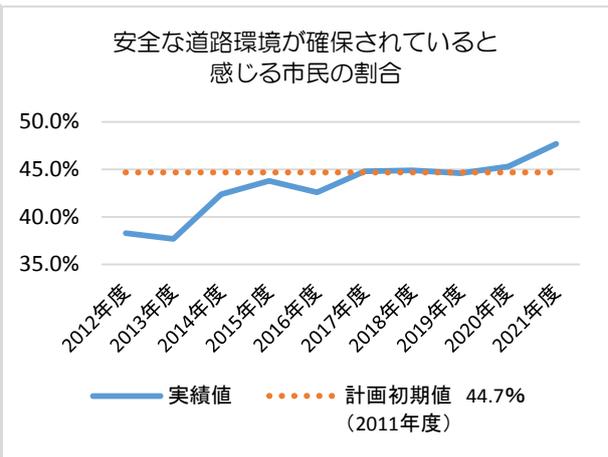
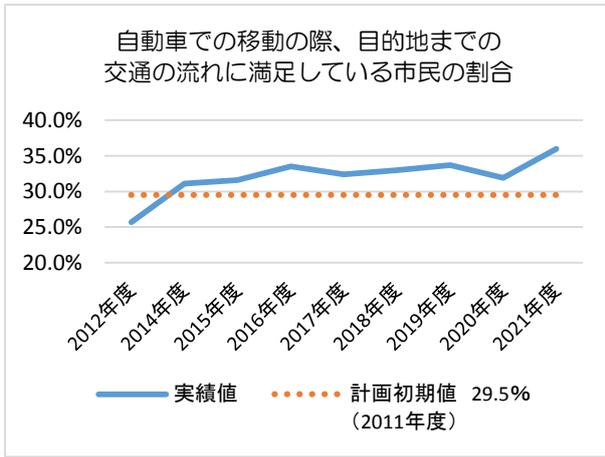
基本政策4 環境に配慮した まちをつくる

○『日常生活の中で、環境に配慮した行動を行っている市民の割合』は、11.1ポイント**低下**しました。
○『市民1人1日あたりのごみ・資源排出量』、『ごみとして処理する量』は**減少**しています。
○『身近な生活環境について気になることはない市民の割合』は、8.7ポイント**上昇**しました。

まちだ未来づくりプラン 未来づくり指標 まちづくり基本目標Ⅳ 暮らしやすいまちをつくる

◎基本政策1 誰もが移動しやすいまちをつくる

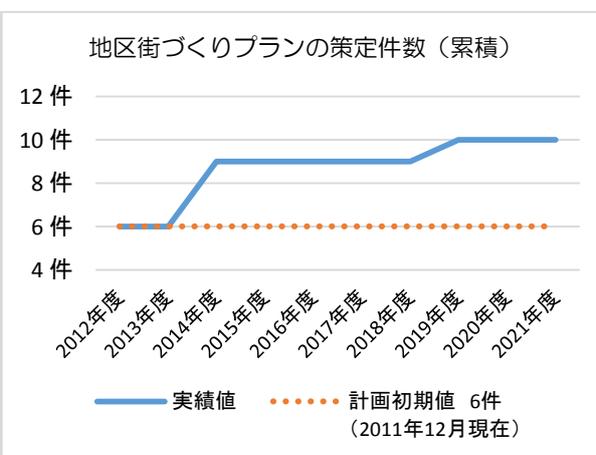
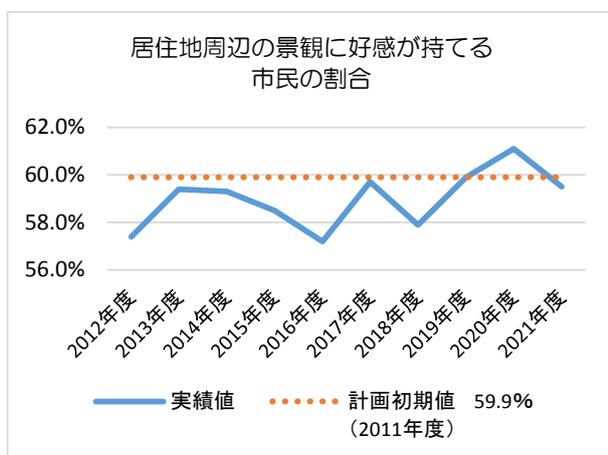
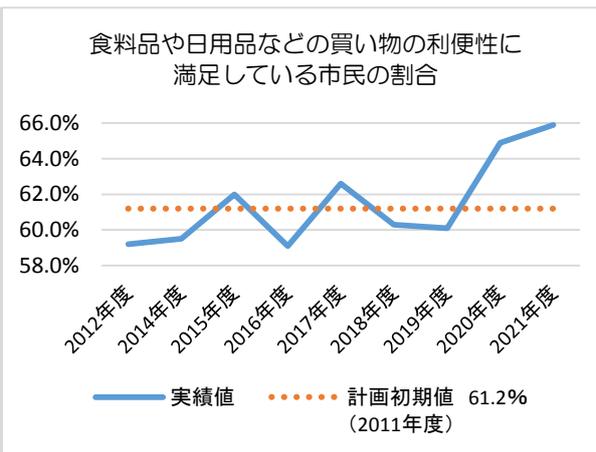
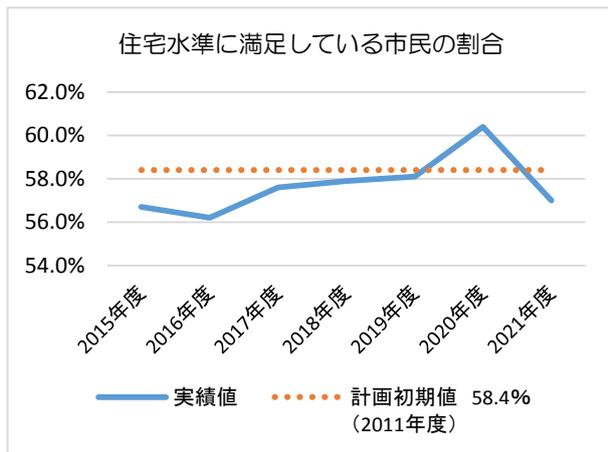
指標名	計画初期値	最終目標 (2021年度)	結果
自動車での移動の際、目的地までの交通の流れに満足している市民の割合	29.5% (2011年度)	↑ 29.5%以上	36.0% (2021年度)
安全な道路環境が確保されていると感じる市民の割合	44.7% (2011年度)	↑ 44.7%以上	47.7% (2021年度)
人口1万人あたりの交通事故(人身事故)発生件数	39.9件 (2010年度)	↓ 39.9件以下	19.3件 (2021年度)
公共交通の利便性に満足している市民の割合	46.5% (2011年度)	↑ 46.5%以上	51.9% (2021年度)
最寄り駅までの所要時間が15分未満の市民の割合	59.4% (2011年度)	↑ 59.4%以上	57.5% (2021年度)



まちだ未来づくりプラン 未来づくり指標
まちづくり基本目標Ⅳ 暮らしやすいまちをつくる

◎基本政策2 良好な住環境のまちをつくる

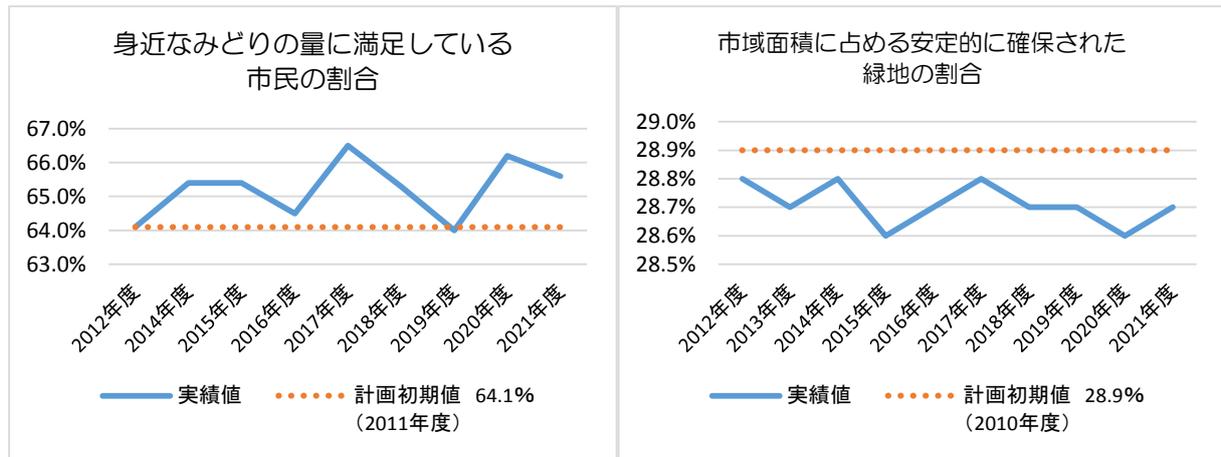
指標名	計画初期値	最終目標 (2021年度)	結果
住宅水準に満足している市民の割合	58.4% (2011年度)	↑ 58.4%以下	57.0% (2021年度)
食料品や日用品などの買い物の利便性に満足している市民の割合	61.2% (2011年度)	↑ 61.2%以上	65.9% (2021年度)
居住地周辺の景観に好感が持てる市民の割合	59.9% (2011年度)	↑ 59.9%以上	59.5% (2021年度)
地区街づくりプランの策定件数 (累積)	6件 (2011年12月 現在)	↑ 6件以上	10件 (2021年度)



まちだ未来づくりプラン 未来づくり指標
まちづくり基本目標Ⅳ 暮らしやすいまちをつくる

◎基本政策3 みどり豊かなまちをつくる

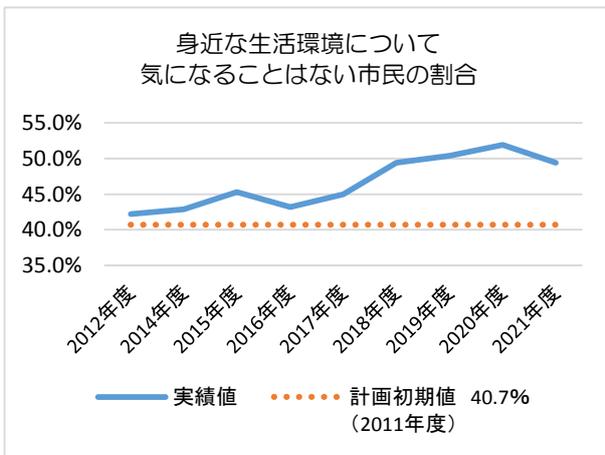
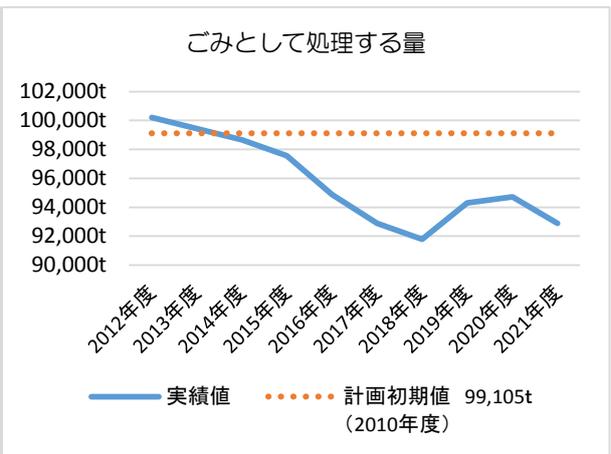
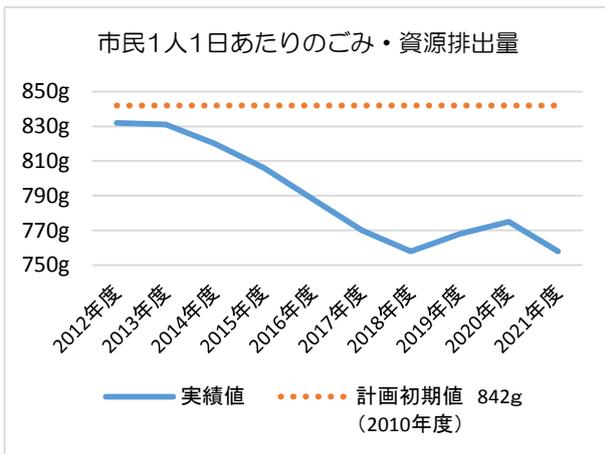
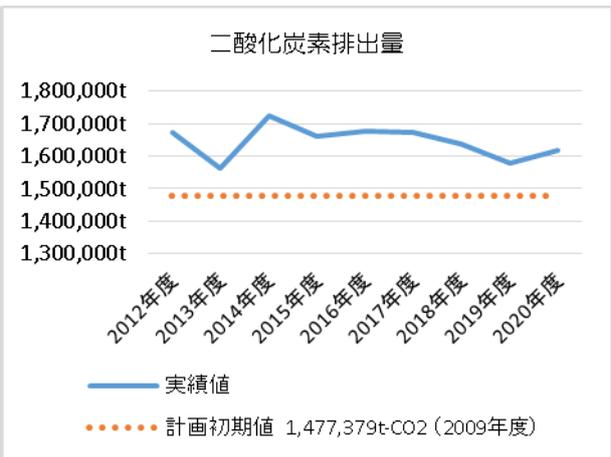
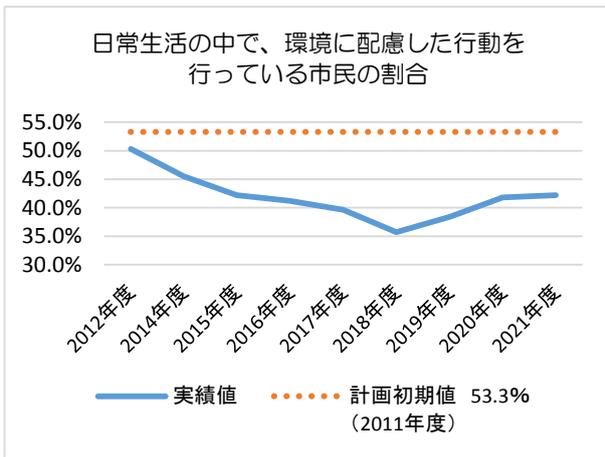
指標名	計画初期値	最終目標 (2021年度)	結果
身近なみどりの量に満足している市民の割合	64.1% (2011年度)	↑ 64.1%以上	65.6% (2021年度)
市域面積に占める安定的に確保された緑地の割合	28.9% (2010年度)	↑ 28.9%以上	28.7% (2021年度)



まちだ未来づくりプラン 未来づくり指標
まちづくり基本目標Ⅳ 暮らしやすいまちをつくる

◎基本政策4 環境に配慮したまちをつくる

指標名	計画初期値	最終目標 (2021年度)	結果
日常生活の中で、環境に配慮した行動を行っている市民の割合	53.3% (2011年度)	↑ 53.3%以上	42.2% (2021年度)
二酸化炭素排出量	1,477,379t-CO2 (2009年度)	↓ 1,477,379t-CO2以下	1,618,790 t-CO2(2020年度速報値)
市民1人1日あたりのごみ・資源排出量	842g (2010年度)	↓ 842g以下	757g (2021年度)
ごみとして処理する量	99.105t (2010年度)	↓ 99.105t以下	92,888 t (2021年度)
身近な生活環境について気になることはない市民の割合	40.7% (2011年度)	↑ 40.7%以上	49.4% (2021年度)



(2) 経営改革指標の達成状況

行政経営基本方針

指標と達成状況

基本方針1

市民と問題意識を共有し、共に地域課題に取り組む

- 『市の広報活動に満足している市民の割合』は、ほぼ横ばいでした。
- 『市民協働事業数』は大幅に増加した一方で、『市役所の取り組みに関心がある市民の割合』は、2.7ポイント減少しました。

基本方針2

市民の期待にこたえられるよう、市役所の能力を高める

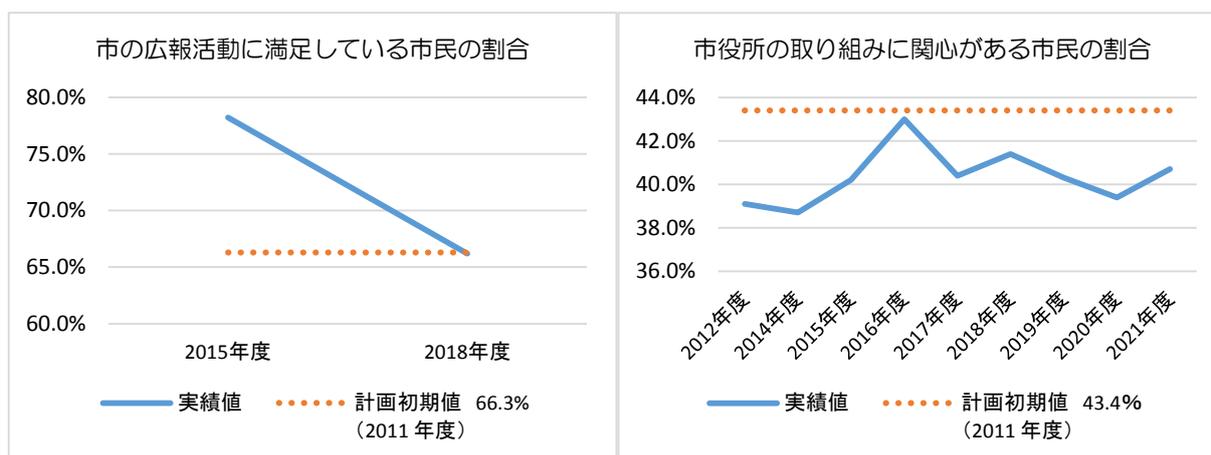
- 『仕事にやりがいを持っている職員の割合』は、12.1ポイント上昇しています。
- 『市役所が社会や環境の変化に即応できていると思う職員の割合』は31.2ポイント、『市役所について「好印象」と答えた市民の割合』は15.7ポイント上昇しました。

基本方針3

いつでも適切な市民サービスが提供できる財政基盤をつくる

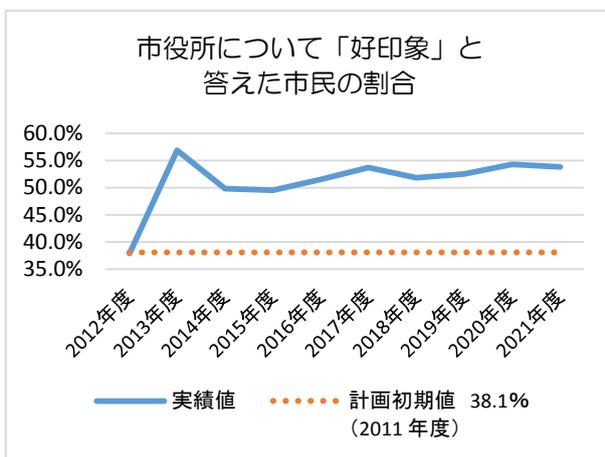
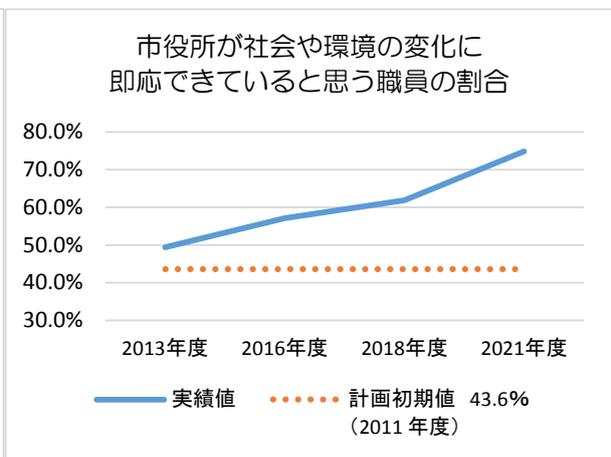
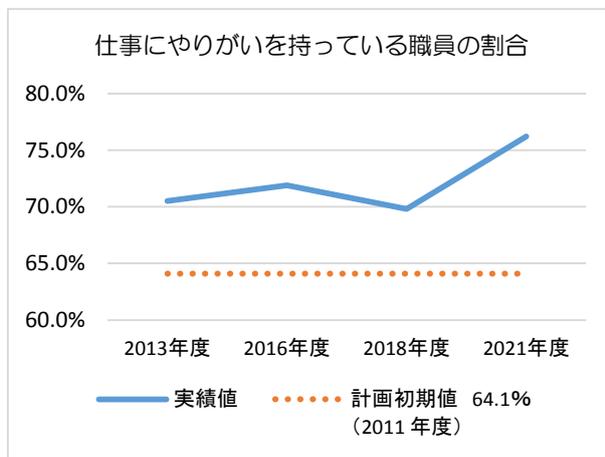
- 『経常収支比率』は、社会保障関係経費の伸びなどにより、0.0ポイント上昇しており、『財政調整基金年度末残高』は、22億円増加しています。
- 『実質公債費比率』は、△0.0%となっており、財政の健全化判断指標上、適正範囲内です。

まちだ未来づくりプラン 経営改革指標			
基本方針1 市民と問題意識を共有し、共に地域課題に取り組む			
指標名	計画初期値	最終目標 (2021年度)	結果
市の広報活動に満足している市民の割合	66.3% (2011年度)	↑ 66.3%以上	66.2% (2018年度)
市役所の取り組みに関心がある市民の割合	43.4% (2011年度)	↑ 43.4%以上	40.7% (2021年度)
市民協働事業数	105事業 (2010年度)	↑ 105事業以上	239事業 (2020年度)



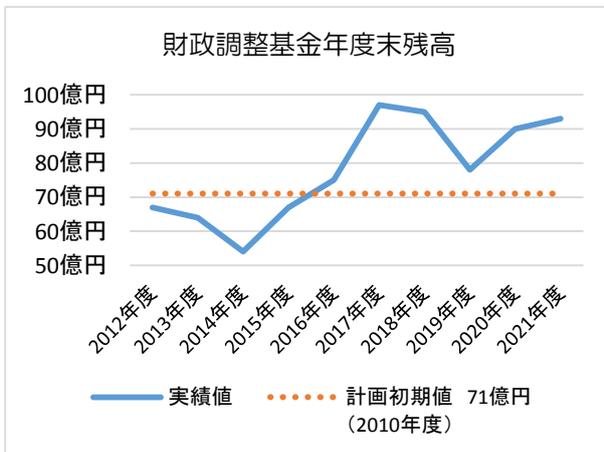
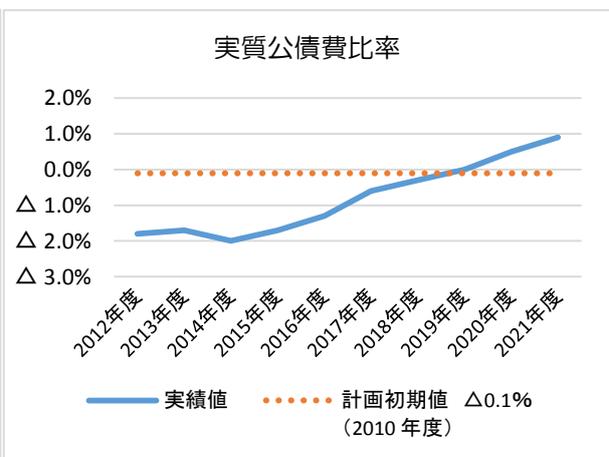
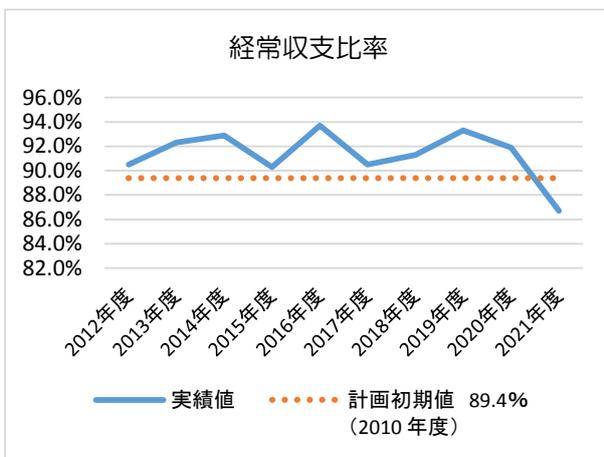


まちだ未来づくりプラン 経営改革指標			
基本方針2 市民の期待にこたえられるよう、市役所の能力を高める			
指標名	計画初期値	最終目標 (2021年度)	結果
仕事にやりがいを持っている職員の割合	64.1% (2011年度)	↑ 64.1%以上	76.2% (2021年度)
市役所が社会や環境の変化に即応できていると思う職員の割合	43.6% (2011年度)	↑ 43.6%以上	74.8% (2021年度)
市役所について「好印象」と答えた市民の割合	38.1% (2011年度)	↑ 38.1%以上	53.8% (2021年度)



まちだ未来づくりプラン 経営改革指標
基本方針3 いつでも適切な市民サービスが提供できる財政基盤をつくる

指標名	計画初期値	最終目標 (2021年度)	結果
経常収支比率	89.4% (2010年度)	↓	86.7% (2021年度)
実質公債費比率	△0.1% (2010年度)	→	0.9% (2021年度)
財政調整基金年度末残高	71億円 (2010年度)	→	93億円 (2021年度)



(3) 各指標の結果一覧

体系区分	基本政策名 基本方針名	指標名	計画初期値	実績値										
				2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
まちづくり 基本目標Ⅰ 将来を担う 人が育つま ちをつくる	基本政策1 安心して楽 しく子育てが できるまちを つくる	子育てが楽しいと感じる保 護者の割合	83.1% (2011年度)	85.3%	-	79.3%	80.3%	77.7%	82.5%	83.5%	81.7%	82.8%	81.4%	
		認可保育所待機児童数	396人 (2010年度)	293人	257人	203人	153人	182人	229人	146人	127人	130人	76人	
		育児について困ったとき、 気軽に相談できる人や場 がある保護者の割合	98.0% (2011年度)	99.6%	98.9%	97.9%	98.2%	97.6%	98.1%	97.2%	98.1%	97.9%	98.1%	
		子どもを預けたいとき、一 時的に預けることができた 保護者の割合	91.7% (2011年 度)	95.2%	-	93.7%	90.1%	91.5%	91.9%	92.5%	88.6%	94.5%	92.2%	
	基本政策2 子どもが生 きる力をはぐ くむまちをつ くる	子どもに充実した学校教育 を受けさせることができ ていると感じる保護者の割合	50.8% (2011年 度)	48.7%	47.8%	46.8%	53.6%	55.4%	51.8%	48.1%	51.8%	56.6%	42.7%	
		全国学力・学習状況調査 正答率が東京都平均以上 の項目数(4項目中)	小学校 1項 目(2010年 度)	-	-	-	0項目							
		全国学力・学習状況調査 正答率が東京都平均以上 の項目数(4項目中)	中学校 2項 目(2010年 度)	-	-	-	1項目	0項目	4項目	3項目	1項目	1項目	0項目	
		児童1千人あたりの不登校 児童数(市立小学校)	4.2人 (2010年度)	-	-	-	4.9人	4.9人	5.4人	7.4人	9.6人	10.9人	12.8人	
		生徒1千人あたりの不登校 生徒数(市立中学校)	33.9人 (2010年度)	-	-	-	29.5人	33.1人	37人	48.3人	56.5人	52.8人	58.7人	
		今住んでいる地域が、子ど もが安全で健やかに育つ 環境になっていると感じる 保護者の割合	50.3% (2011年度)	39.5%	45.5%	46.2%	50.1%	54.5%	48.2%	46.6%	54.2%	55.0%	50.3%	
	基本政策3 生涯にわ たって学び、 成長できる まちをつくる	野外体験やボランティアの 活動、地域活動に参加した 子どもを持つ保護者の割合	70.3% (2011年度)	61.6%	62.8%	59.2%	67.0%	58.0%	56.7%	50.3%	55.1%	42.6%	20.8%	
		生涯学習活動を行う機会を 持つことができた市民の割 合	47.9% (2011年度)	48.4%	-	47.1%	47.8%	47.4%	45.5%	46.1%	46.9%	49.2%	45.3%	
	まちづくり 基本目標Ⅱ 安心して生 活できるまち をつくる	基本政策1 健康に生活 できるまちを つくる	過去1年間に健康診断を受 診した市民の割合	78.5% (2011年度)	78.0%	-	77.2%	77.0%	79.1%	81.3%	81.8%	80.9%	76.8%	77.0%
			日常生活の中で健康に気 をつけている市民の割合	49.8% (2011年度)	51.0%	-	49.1%	50.6%	52.4%	51.1%	51.4%	53.3%	53.6%	54.2%
地域医療体制に満足して いる市民の割合			34.3% (2011年度)	30.4%	-	32.3%	33.6%	33.2%	37.3%	36.9%	36.1%	38.4%	37.8%	
かかりつけの医療機関が ある市民の割合			72.4% (2011年度)	77.1%	-	75.7%	73.7%	74.6%	75.7%	76.0%	75.7%	74.7%	74.9%	
結核罹患率(人口10万人 対)			18.6人 (2010年 対)	15.8人	13.1人	16.8人	11.9人	13.8人	11.3人	10.6人	6.7人	8.4人	9.2人	

体系区分	基本政策名 基本方針名	指標名	計画初期値	実績値									
				2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
まちづくり 基本目標Ⅱ 安心して生活できるまちをつくる	基本政策2 みんなが支え合うまちをつくる	要介護(要支援)認定を受けていない高齢者の割合	84.6% (2010年度)	83.9%	83.6%	83.2%	83.1%	82.8%	82.5%	81.8%	81.4%	81.2%	81.0%
		介護保険サービスに満足している市民の割合	55.3% (2011年度)	60.0%	-	58.5%	62.4%	52.5%	58.4%	52.6%	60.4%	59.7%	56.0%
		特別養護老人ホームの入所待機者数	998人 (2010年)	1008人	915人	937人	811人	787人	735人	717人	648人	560人	598人
		一般就労した障がい者数	56人 (2010年度)	59人	60人	54人	52人	52人	79人	69人	90人	49人	65人
		福祉関連のボランティア活動を行った市民の割合	3.8% (2011年度)	3.1%	-	3.7%	3.4%	3.0%	4.1%	2.6%	2.8%	2.1%	2.4%
	基本政策3 地域で充実した生活を送れるまちをつくる	町内会・自治会などの地域活動に参加している市民の割合	35.6% (2011年度)	39.1%	-	41.0%	38.4%	39.3%	39.3%	36.2%	37.2%	35.2%	34.0%
		NPOやボランティア団体などの市民団体の活動に参加している市民の割合	9.3% (2011年度)	9.7%	-	10.0%	9.1%	8.9%	9.4%	8.1%	8.8%	8.3%	7.8%
		性別、信条、職業、国籍などによる差別がないと思う市民の割合	77.4% (2011年度)	83.6%	-	82.0%	81.8%	78.7%	83.2%	82.7%	80.4%	81.8%	78.0%
	基本政策4 安全に生活できるまちをつくる	災害などの非常時に対して備えている市民の割合	88.1% (2011年度)	87.8%	-	85.2%	84.6%	85.7%	84.9%	83.9%	86.3%	87.7%	88.6%
		治安が良いと感じる市民の割合	45.3% (2011年度)	45.2%	-	47.2%	48.9%	49.7%	52.7%	53.9%	53.7%	52.7%	57.1%
		人口1万人あたりの刑法犯認知件数	128.2件 (2010年)	106.9件	99.6件	88.6件	79.4件	79.7件	79.5件	68.0件	63.1件	49.6件	45.4件
	まちづくり 基本目標Ⅲ 賑わいのあるまちをつくる	基本政策1 経済活動が盛んなまちをつくる	商業の年間商品販売額	8,096.6億円 (2007年)	5331億円	-	5739億円	-	6602億円	-	-	-	-
中心市街地における年間商品販売額			2,052.1億円 (2007年)	-	-	1578億円	-	-	-	1578億円	-	-	-
工業の製造品出荷額等(従業者4人以上)			768.5億円 (2009年)	810億円	824億円	959億円	-	1287億円	-	-	-	-	-
市内の「農」にふれる機会を持つことができた市民の割合			44.9% (2011年度)	43.8%	-	41.0%	41.1%	40.2%	40.9%	40.0%	39.4%	38.4%	38.3%
1年間に市内で起業した事業所の数			261件 (2010年度)	315件	362件	375件	396件	379件	344件	433件	308件	425件	402件
基本政策2 文化芸術活動やスポーツが盛んなまちをつくる		文化芸術にふれる機会を持つことができた市民の割合	23.8% (2011年度)	25.9%	-	23.9%	23.3%	24.8%	25.8%	25.0%	24.1%	16.1%	11.6%
		スポーツにふれる機会を持つことができた市民の割合	22.2% (2011年度)	26.2%	29.5%	24.3%	24.3%	23.7%	26.2%	25.4%	24.2%	20.9%	16.6%
		町田市を本拠地とするホームタウンチームのホームゲームでの年間観戦者数	72,031人 (2010年度)	90,280人	69,503人	68,406人	104,825人	128,195人	99,337人	130,855人	133,643人	35,061人	64,326人
基本政策3 魅力にあふれ、何度でも訪れたいまちをつくる		年間観光入込客数	347.7万人 (2010年度)	443万人	408万人	388万人	431万人	501万人	463万人	413万人	365万人	573万人	-
		町田市観光コンベンション協会ホームページのアクセス件数	46万件 (2010年度)	17.8万件	18.3万件	25.9万件	26.4万件	28.3万件	28万件	14.7万件	16.5万件	17.5万件	17.4万件

体系区分	基本政策名 基本方針名	指標名	計画初期値	実績値									
				2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
まちづくり 基本目標Ⅳ 暮らしやすいまちをつくる	基本政策1 誰もが移動しやすいまちをつくる	自動車での移動の際、目的地までの交通の流れに満足している市民の割合	29.5% (2011年度)	25.7%	-	31.1%	31.6%	33.5%	32.4%	33.0%	33.7%	31.9%	36.0%
		安全な道路環境が確保されていると感じる市民の割合	44.7% (2011年度)	38.3%	37.7%	42.4%	43.8%	42.6%	44.8%	44.9%	44.6%	45.3%	47.7%
		人口1万人あたりの交通事故(人身事故)発生件数	39.9件 (2010年度)	34.5件	29.1件	23.6件	22.7件	22.3件	22.1件	19.8件	19.9件	15.5件	19.3件
		公共交通の利便性に満足している市民の割合	46.5% (2011年度)	43.7%	-	47.7%	47.9%	46.7%	47.2%	47.4%	46.5%	49.6%	51.9%
		最寄り駅までの所要時間が15分未満の市民の割合	59.4% (2011年度)	57.0%	-	56.9%	57.7%	57.2%	57.2%	56.6%	57.1%	58.1%	57.5%
	基本政策2 良好な住環境のまちをつくる	住宅水準に満足している市民の割合	58.4% (2011年度)	-	-	-	56.7%	56.2%	57.6%	57.9%	58.1%	60.4%	57.0%
		食料品や日用品などの買い物の利便性に満足している市民の割合	61.2% (2011年度)	59.2%	-	59.5%	62.0%	59.1%	62.6%	60.3%	60.1%	64.9%	65.9%
		居住地周辺の景観に好感が持てる市民の割合	59.9% (2011年度)	57.4%	59.4%	59.3%	58.5%	57.2%	59.7%	57.9%	59.9%	61.1%	59.5%
		地区街づくりプランの策定件数(累積)	6件 (2011年12月現在)	6件	6件	9件	9件	9件	9件	9件	10件	10件	10件
	基本政策3 みどり豊かなまちをつくる	身近なみどりの量に満足している市民の割合	64.1% (2011年度)	64.1%	-	65.4%	65.4%	64.5%	66.5%	65.3%	64.0%	66.2%	65.6%
		市域面積に占める安定的に確保された緑地の割合	28.9% (2010年度)	28.8%	28.7%	28.8%	28.6%	28.7%	28.8%	28.7%	28.7%	28.6%	28.7%
	基本政策4 環境に配慮したまちをつくる	日常生活の中で、環境に配慮した行動を行っている市民の割合	53.3% (2011年度)	50.3%	-	45.5%	42.2%	41.2%	39.6%	35.7%	38.4%	41.8%	42.2%
		二酸化炭素排出量	1,477,379t-CO ₂ (2009年度)	1,671,537t	1,563,146t	1,722,739t	1,661,252t	1,676,498t	1,672,924t	1,637,650t	1,577,904t	1,618,790t	-
		市民1人1日あたりのごみ・資源排出量	842g (2010年度)	832g	831g	820g	806g	788g	770g	758g	768g	775g	757g
		ごみとして処理する量	99,105t (2010年度)	100,198t	99,438t	98,671t	97,553t	94,880t	92,894t	91,789t	94,309t	94,719t	92,888t
		身近な生活環境について気になることはない市民の割合	40.7% (2011年度)	42.2%	-	42.9%	45.3%	43.2%	45.0%	49.4%	50.4%	51.9%	49.4%

体系区分	基本政策名 基本方針名	指標名	計画初期値	実績値									
				2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
経営改革指標	基本方針1 市民と問題意識を共有し、共に地域課題に取り組む	市の広報活動に満足している市民の割合	66.3% (2011年度)	-	-	-	78.2%	-	-	66.2%	-	-	-
		市役所の取り組みに関心がある市民の割合	43.4% (2011年度)	39.1%	-	38.7%	40.2%	43.0%	40.4%	41.4%	40.3%	39.4%	40.7%
		市民協働事業数	105事業 (2010年度)	-	-	-	-	183事業	210事業	205事業	268事業	239事業	-
	基本方針2 市民の期待にこたえられるよう、市役所の能力を高める	仕事にやりがいを持っている職員の割合	64.1% (2011年度)	-	70.5%	-	-	71.9%	-	69.8%	-	-	76.2%
		市役所が社会や環境の変化に即応できていると思う職員の割合	43.6% (2011年度)	-	49.4%	-	-	57.1%	-	61.8%	-	-	74.8%
		市役所について「好印象」と答えた市民の割合	38.1% (2011年度)	37.9%	56.9%	49.8%	49.5%	51.5%	53.7%	51.8%	52.5%	54.3%	53.8%
	基本方針3 いつでも適切な市民サービスが提供できる財政基盤をつくる	経常収支比率	89.4% (2010年度)	90.5%	92.3%	92.90%	90.3%	93.7%	90.5%	91.3%	93.3%	91.9%	86.7%
		実質公債費比率	△0.1% (2010年度)	△ 1.8%	△ 1.7%	△ 2.0%	△ 1.7%	△ 1.3%	△ 0.6%	△ 0.3%	0.0%	0.5%	0.9%
		財政調整基金年度末残高	71億円 (2010年度)	67億円	64億円	54億円	67億円	75億円	97億円	95億円	79億円	90億円	93億円

3 未来づくりプロジェクトの主な成果

未来づくりプロジェクトは、町田市の都市の魅力を高めるために「まちだ未来づくりプラン」で設定した、5つのリーディングプロジェクトです。

プロジェクトでは、町田市の都市としての特徴を最大限にいかすため、交通の結節点やみどり豊かな丘陵地などのまちの強みと、市民協働、環境に配慮したまちづくりなど市民生活をより充実させるための要素を結び、10年を超える長期的な視点に立って取り組みを進めてきました。

【5つの未来づくりプロジェクト】

各プロジェクトでは、特に重要な取り組みを戦略として位置付け、目指すべき方向を明らかにしています。この戦略を軸に、関連するさまざまな事業を複合的に実施し、相乗的な効果を生み出すよう取り組みを進めてきました。

- ① 地域社会づくりを基本とするまちづくりプロジェクト
- ② 町田駅周辺の魅力を向上させるプロジェクト
- ③ 団地再生に向けたプロジェクト
- ④ みどりを活用したまちづくりを推進するプロジェクト
- ⑤ 基幹交通機能を強化するプロジェクト

① 地域社会づくりを基本とするまちづくりプロジェクト

地域の特性や資源をいかし、地域の実情に応じたまちづくりを進めるため、町内会・自治会やNPOなどの多様な担い手と市の協働による地域社会づくりを進めてきました。

戦略1 地域を支える組織づくり
<ul style="list-style-type: none"> 「（仮称）地域社会づくり検討会」の立ち上げ支援 常設の地域活動拠点整備
戦略2 地域の魅力の発信
<ul style="list-style-type: none"> 地域に関する情報の集約と市内外に向けた発信 各地域における相談支援の強化
戦略3 地域の魅力の向上
<ul style="list-style-type: none"> 「（仮称）地域社会づくり検討会」による様々な分野のまちづくり 「（仮称）未来づくり地域予算制度」の創設

・プロジェクトの関連事業

事業名	戦略	詳細ページ
新たな地域協働の推進	1・2・3	91
市民協働・地区協議会への支援	1・2・3	92
地域コミュニティ施設整備	1	93
新たな協働による地域社会づくりの推進	1・2・3	177

・主な成果

- ❁ 市内全10地区において地区協議会が設立されました。
(2014年度～2019年度)



- ❁ 町田市地域活動サポートオフィスを開設し、団体からの相談受付や講座の実施をとおして、団体間の連携・協働の促進や組織基盤の強化を図りました。
(2019年度～2021年度)



- ❁ 町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」を中心に、複数の団体による協働イベントの開催や動画の作成などの新たな挑戦への支援を実施しました。(2012年度～2021年度)

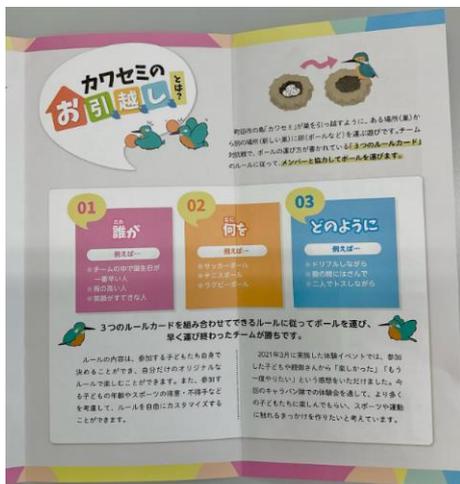


- ❁ 玉川学園コミュニティセンターをリニューアルオープンするとともに、玉川学園前駅と玉川学園コミュニティセンターをつなぐデッキを開通しました。(2021年度)



- ❁ 地域課題解決を行うまちづくりプロジェクトとして、「まちだをつなげる30人」を実施し、地域課題の解決を目指して、計15のプロジェクトを立ち上げました。(2020年度～2021年度)

まちだをつなげる30人とは
 背景の異なる多様な30人が集まり、つながりを深めながら周囲の関係者を招き入れて議論を深める対話の場を開催し、約半年間かけて地域課題解決に取り組むまちづくりプロジェクト。



活動紹介のリーフレット



2021年度の様子

主なプロジェクト

- 「子どもたちが誇りを持てる町田を創る」というビジョンを掲げ、新しい遊び「カワセミのお引越し」を発案し、運動嫌いの子どもを減らす取り組みを行っています。
- ボランティアを募って新型コロナウイルスワクチン接種予約サポート体制を構築。圧倒的なスピード感で実行し、多くの困っている高齢者の支援を実施しました。

② 町田駅周辺の魅力を向上させるプロジェクト

多くの方が市内外から集い、楽しめるまちになるため、ゆとりの空間の確保や新たな賑わいの創出など、町田駅周辺の魅力を向上させる取り組みを進めてきました。

戦略1 交通結節点としてのターミナル機能の強化	
• 駅前広場の整備	
• 乗り継ぎの利便性の向上 →連絡通路整備、案内表示の充実	
戦略2 賑わいの新たな創出	
• 商業機能、娯楽機能、文化機能の充実 →コンベンション施設の整備、集客施設の誘致	
• 雇用の創出 →オフィスビルの誘致、企業の視線	
戦略3 誰もが快適に歩くことができるまちづくり	
• まちに訪れる人がまちなかを歩きたくなるような空間の整備	
• バリアフリーに配慮した歩行空間の整備	

・プロジェクトの関連事業

事業名	戦略	詳細ページ
中心市街地活性化の推進	1・2・3	100
原町田一丁目地区のまちづくりの推進	1・2・3	101
小田急町田駅周辺地区のまちづくりの推進	1	101
起業の支援	2	108
文化芸術の拠点施設の整備	2	111
芹ヶ谷公園芸術の杜の整備	2	113
無電柱化の推進	3	133

・主な成果

❁ 町田新産業創造センターを開設しました（2013年度）



❁ 芝生広場「町田シバヒロ」を開設しました。（2014年度）



- ❁ 個性的な店舗及び魅力的な空間を増やす取り組みや、快適な歩行空間や散策できるスポットの増加を図るため、社会実験を実施しました。(2017年度～2021年度)



- ❁ 「賑わいや交流にあふれるまちの実現」を目指して、「町田駅周辺地区都市再生整備計画」を策定しました。(2021年度)

- ❁ 町田市の玄関口である町田駅周辺ペDESTリアンデッキ下のイメージを向上させ、誰もが快適に歩くことができる環境を整備するため、照明のLED化や柱や周辺壁面の塗装替え、緑化コンテナの設置を行いました。(2021年度)



- ❁ モノレール延伸事業と連携し、町田駅の交通ターミナル機能の再編と周辺整備の方向性の検討や整備実施に向けた事業性の検証を実施したほか、まちづくり連携協定に基づく駅周辺まちづくりや交通利便性向上に関する検討を実施しました。(2016年度)

- ❁ 芹ヶ谷公園“芸術の杜”は、コンセプトである『パークミュージアム』の実現に向けた様々な取り組みを地域の方々等のご協力をいただきながら実施しています。「子ども」と「体験」の視点を大切に、公園内でのアート展示やものづくりワークショップ、音楽鑑賞、まちなかと公園を一体的に楽しめる宝探しイベントやライトアップイベントを実施するなど、アート活動や様々な体験を通じて、芹ヶ谷公園とまちなかを味わい尽くせるような事業を実施しました。(2018年度～2021年度)



小さな公園活用実証実験



滞在実証実験



フューチャーパーククラブ

※パークミュージアム

通常の博物館や美術館のように展示されているものを鑑賞するだけでなく、町田の多様な文化芸術の活動や公園の豊かな自然を体験しながら学び楽しむことができる新しい体験型の公園のことをいいます。

③ 団地再生に向けたプロジェクト

団地を町田市の資産と捉え、その魅力をさらに高めていくため、生活サービス機能の充実やコミュニティ機能の向上など、団地再生に向けた取り組みを進めてきました。

戦略1 団地再生に向けた合意の形成
・団地再生に向けた検討組織の立ち上げ
戦略2 多様な世代が住まう環境づくり
・コミュニティの活性化
・若い世代の入居促進をURや公社に働きかける →子育て支援機能の充実、間取りの変更
・医療・介護サービスの充実、住居のバリアフリー化など
戦略3 効果的な土地利用による周辺環境整備
・学校跡地の活用

・プロジェクトの関連事業

事業名	戦略	詳細ページ
団地再生の推進	1・2	141
学校跡地の活用	3	-

・主な成果

- ❁ 団地周辺を含めたまちの活性化を実現するため、20年後の住宅都市町田の目指すべき方向性を示した「団地再生基本方針」を策定しました。（2012年度）
- ❁ 2012年度から2021年度にかけて、9団地（藤の台、鶴川、木曽山崎団地地区（町田山崎・山崎第二・町田木曽・木曽）、森野、本町田、小山田桜台）において、団地ごとに、ワークショップ、魅力発信イベント、大学との連携、JKK、UR、商店会、自治会との意見交換など、団地再生に向けた取り組みを実施しました。



「ふじずかん」の表紙



藤の台団地で開催した「みちあそび」

【参考：団地再生に向けた取り組み】

- 藤の台団地：ワークショップ「ふじずかん」、地域主体での「みちあそび」活動の支援、分譲管理組合を対象とした先進団地事例の見学会
- 鶴川団地：商店会との共催による入居 50 周年のイラストコンテスト、冒険遊び場を活用したワークショップ、センター街区再編に向けた UR との意見交換
- 木曾山崎団地地区：団地の魅力を発信するためのイベント「遊団地」、木曾山崎団地地区まちづくり構想の改定案の作成
- 本町田住宅：昭和薬科大学及び JKK と連携した、団地再生のための協議、交流会
- 小山田桜台団地：小山田桜台団地と周辺地域を対象としたまちづくり構想の定、エリアマネジメントの取組の支援
- 主に小山田桜台団地・木曾山崎団地地区・森野住宅：
多摩都市モノレール延伸を見据え、UR・JKK と継続的な協議を実施



鶴川冒険遊び場で開催した
ワークショップ



「遊団地」で作成したかるたの展示

- ❁ 旧本町田中学校及び旧本町田西小学校は、「木曾山崎団地地区まちづくり構想」における「文化拠点・教育関連拠点」の位置付けに基づき私立学校を誘致し、2020年度に「桜美林大学東京ひなたやまキャンパス」の運営が開始、2021年度には「桜美林芸術文化ホール」の整備が完了しました。
(2020年度～2021年度)



桜美林大学東京ひなたやまキャンパス



桜美林芸術文化ホール

④ みどりを活用したまちづくりを推進するプロジェクト

多くの人に市内のみどりを楽しんでもらえるよう、薬師池公園をはじめとする主要な公園の充実や、農地の保全など、みどりの魅力をさらに高める取り組みを進めます。

戦略1 市内緑地の戦略的な保全	
• 拠点ごとにテーマ性を持つ整備	
• 農業の魅力向上 →営農環境の保全や整備、新たな農ブランドの育成	
戦略2 みどりを楽しむ環境の整備	
• 市民、NPO、事業者などの活動支援と連携の仕組みづくり	
• 農業経営の支援や農にふれることができる環境づくり →農業研修の充実、市民農園・体験農園の充実	
戦略3 薬師池公園地域の魅力向上	
• 施設の相互連携の検討 →施設間の移動手手段確保、連絡バス運行、一体的なプロモーション	
• 各施設の特徴の強化 →テーマ性を持たせた整備	
• 「道の駅」の整備 →市内各地への出発、連絡地点、町田名産品の販売拠点	

・プロジェクトの関連事業

事業名	戦略	詳細ページ
農業の生産性の向上	1	106
農とのふれあいの推進	2	107
地域の特性を活かした観光まちづくりの推進	3	121
町田薬師池公園四季彩の杜の整備	3	123
北部丘陵における里山環境の回復・保全	1・2	150

・主な成果

❁農業の新たな担い手の育成を目的とした農業研修事業を実施しました。本事業を通じて、新規就農者や援農ボランティアを育成し、高齢化や後継者不足等による農業者の減少を抑制しました。(2012年度～2021年度)



町田市農業研修農場

❁町田の農業の基幹である育苗センター、農業者のビニールハウスなど、農業用施設整備を支援しました。(2012年度～2021年度)



町田薬師池公園四季彩の杜
西園内 育苗センター

- ❁ 地域情報メディアサイト「まちだけ」やSNSによる農業情報発信ツールを整備するとともに、直売所やまち☆ベジグルメ店、農業イベント情報を多様な媒体で発信し、町田市の農業を広くPRしました。（2018年度～2021年度）



- ❁ 「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画」を策定しました。（2014年度）
- ❁ 薬師池、ぼたん園、ダリア園の園名看板を設置しました。（2015年度）



- ❁ 四季を通してイベントを実施しました。（2012年度～2021年度）



しょうぶ・あじさいまつり



ぼたん・しゃくやくまつり



観蓮会



2021年度四季彩の杜スタンプラリー

- ❁ 町田薬師池公園四季彩の杜西園（ウェルカムゲート）を開園しました。（2020年度）



みどりが映える「芝生広場」



新鮮な町田産野菜が並ぶ「直売所」

⑤ 基幹交通機能を強化するプロジェクト

市内の移動しやすさを向上させるため、南北、東西を貫く新たな交通システムの構築、路線バスの定時性や速達性の向上など、基幹交通機能を強化する取り組みを進めてきました。

戦略1 基幹交通の整備	
<ul style="list-style-type: none"> • 新たな交通拠点の整備の検討 → 幹線バスの結節点、多摩モノや小田多摩の新設駅 	
<ul style="list-style-type: none"> • 乗車場所の案内などの情報提供 	
<ul style="list-style-type: none"> • 連節バスシステムの導入 	
<ul style="list-style-type: none"> • 幹線バス路線の確立、バスの乗り継ぎシステムの構築 	
<ul style="list-style-type: none"> • 優先的なバス走行環境の整備 	
戦略2 支線バス路線網の形成	
<ul style="list-style-type: none"> • 支線バス路線網の形成 	
戦略3 誰もが移動しやすいまちの構築	
<ul style="list-style-type: none"> • 基幹交通と支線バスを補完する交通手段 → コミュニティバス、乗合タクシー 	
<ul style="list-style-type: none"> • 乗り継ぎ拠点の確立 	

・プロジェクトの関連事業

事業名	戦略	詳細ページ
多摩都市モノレールの延伸	1	134
小田急多摩線の延伸	1	135
路線バス利用環境の整備	1・2	135
交通空白地区の解消	3	138
計画的なまちづくりの推進	1・2・3	144

・主な成果

- ❁ 町田バスセンター・山崎団地センター間及び相原駅・法政大学間で、連節バスの運行を開始しました。
(2012年度、2021年度)



- ❁ 玉川学園コミュニティバス「玉ちゃんバス」南ルート of 運行を開始しました。(2015年度)



- ❁ 小山田桜台を拠点とした唐木田駅方面への新規路線導入に向けて、ワゴン車、小型バスによる検証運行を実施しました。(2017年度～2021年度)



(2017年12月～2019年7月)



(2019年8月～)

- ❁ 都市計画マスタープラン、交通マスタープラン、住宅マスタープラン、緑の基本計画を統合した「町田市都市づくりのマスタープラン」を策定し、市民、交通事業者、関係機関等とともに作りだしていく交通体系や交通基盤の使い方など、交通やモビリティ（”移動しやすさ”）に関する基本方針を示しました。(2021年度)



- ❁ 東京都、町田市、多摩市、多摩都市モノレール株式会社および学識経験者で構成する「多摩都市モノレール町田方面延伸ルート検討委員会」において、延伸ルートが選定されました。(2021年度)



